

看護学部 看護学科 2年次 シラバス

開設科目名	カトリックの愛の精神Ⅱ	科目コード	BSNLH201	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	井手信	担当者	井手信、寺浜亮司		
授業の概要(授業の目的)					
本科目では、人間の尊厳の尊重を基盤としたケアの実践を目的として、保健医療福祉における全人的苦痛とケアの実践、特に、スピリチュアリティ(霊性)、スピリチュアルケア(霊的ケア)について学ぶ					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 医療福祉における全人的苦痛(トータルペイン)および全人的医療/ケアの概念を知る			1 いのちの尊重、倫理的本質		
2) スピリチュアルニーズのアセスメントができる					
3) スピリチュアルケアの実際について関心を持つことが出来る					
4) 全人的ケアの基本を実践できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	全人的苦痛(トータルペイン)/ケアの概念 スピリチュアリティとは? 「私は信じる『激しい苦しみに襲われている』という時も」	講義 <対面>	井手信	全人的苦痛、特に人間のスピリチュアル(霊的)な側面について調べておく テキスト①(第1,2章)②を読んでおくこと	2時間
2	スピリチュアルアセスメント ① スピリチュアルニーズのアセスメント	講義 <対面>	井手信	テキスト第5,6章を読んでおくこと	4時間
3	スピリチュアルアセスメント ② アセスメント事例検討	講義 <対面>	井手信	テキスト第5,6章を読んでおくこと 復習:アセスメント事例検討をまとめる	4時間
4	スピリチュアルケア ① スピリチュアルケアの実際	講義 <対面>	井手信	テキスト第4章および6,7章を読んでおくこと	4時間
5	スピリチュアルケア ② スピリチュアルケア事例検討	講義 <対面>	井手信	テキスト6,7章を読んでおくこと。当日は与えられた事例についてグループでディスカッションする	4時間
6	全人的ケアの実践	講義 <対面>	井手信	復習:臨床事例検討(当日提示予定)をもとにスピリチュアルな側面のケアについてまとめる	4時間
7	臨床における全人的苦痛とケア	講義 <対面>	井手信	臨床事例のプレゼンテーション(ゲストスピーカー) 復習:聴講感想をまとめる	4時間
8	宗教とスピリチュアルケア・苦しみ・祈り・希望	講義 <対面>	寺浜	宗教的ケアの実践について調べておくこと。雪の聖母聖堂内で講義の後、霊的ケア・祈りの方法等を学ぶ	3時間
成績評価方法・基準	授業外レポート 80%、授業内レポート 20% (井手 信)				
課題に対するフィードバック	提出された課題レポートおよびアクションペーパーについては次回授業内でコメントを伝えフィードバックする				
教科書	① エリザベス・ジョンストン・テイラー:スピリチュアルケア 看護のための理論・研究・実践 医学書院 ② 日本カトリック司教団 いのちへのまなざし カトリック中央協議会				
参考書・参考文献	ミルトン・メイロフ:ケアの本質 ゆみる出版 聖書 新共同訳-旧約聖書統編つき-、日本聖書協会				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	井手信 オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30 連絡先:2号館2階 学院長室 メールアドレス:n-ide@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ:建学の精神に基づく全人的ケアの理解は、看護専門科目(特にロイモデルの自己概念)の理解につながることを意識して勉強を深めてください。				

開設科目名	キリスト教概論Ⅱ	科目コード	BSNLH202	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	寺浜亮司	担当者	寺浜亮司、井手公平		
授業の概要(授業の目的)					
かけがえない「いのち」を尊重し、平和な世の中にしたいたいとの切なる願望を人間は誰も抱いている。全人類が真の幸福に到達できるよう、福音書を通して周辺に追いやられた人々のもとへ自ら出向いて行かれたイエス・キリストの生き方に倣う。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 聖書(福音書)を読み、キリスト教の歴史及びキリスト教的人間観を学ぶ				いのちの尊重 倫理的本質	
2) 私たち人類、特に、弱い立場にある人々に対するキリストのいつくしみと愛を知る					
3) キリストの愛を知ることによって建学の精神に基づいた看護/ケアリングを実践することができる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	キリスト教と看護	講義 <面接>	寺浜	1年次「キリスト教概論Ⅰ」を復習しておくこと。聖書持参のこと	4時間
2	聖書と脳科学から見た人間論	講義 <面接>	井手	創世記2章、いのちへのまなざし第1章	4時間
3	ホスピタリティ	講義 <面接>	井手	聖書箇所は当日指示	4時間
4	命の輝き	講義 <面接>	井手	聖書箇所は当日指示	4時間
5	語りかける神	講義 <面接>	井手	聖書を読む：学修箇所は当日指示	4時間
6	自分と他者、異なる存在を知る	講義 <面接>	寺浜	聖書を読む：学習箇所は当日指示	4時間
7	寄り添う者の存在について	講義 <面接>	寺浜	聖書を読む：学習箇所は当日指示	4時間
8	人間の苦悩と死について キリストとともに歩む	講義 <面接>	寺浜	聖書を読む：学習箇所は当日指示	4時間
成績評価方法・基準	授業内レポート100%(寺浜)				
課題に対するフィードバック	アドバイスや質問には、リアクションペーパーで、個別に応える				
教科書	聖書 新共同約—旧約聖書続編付き 日本聖書協会 日本カトリック司教団 :いのちへのまなざし(増補新版) カトリック中央協議会				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	寺浜亮司(非常勤講師) 質問は授業終了後教室にて受け付けます。 *後期からはよいよは実習開始です。人間の尊厳を尊重した全人的ケアの基盤であるキリスト教的人間観をしっかり学んでください。 *井手公平先生の講義で「いのちへのまなざし」を使用します。忘れずに持参してください。				

開設科目名	臨床栄養学	科目コード	BSNLH203	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	立野順子	担当者	立野順子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>栄養代謝学で学修した基本的な栄養と代謝に関する知識を発展させ、高血圧・糖尿病・脂質異常症・腎臓病等のさまざまな疾患のある人々の病態の成因、進展、治癒と栄養のかかわりについて学修する。また、患者の病態や疾患に応じた栄養管理を理解し、患者や家族への教育に役立つ知識を身に付ける。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 栄養ケアの役割を理解する。			医療の基礎		
2. さまざまな治療法と栄養ケアの連携を理解する。					
3. 治療における疾患及び病態の経過を学び、患者のQOLや心理状況を理解する。					
4. 疾患・病態に対応した、栄養評価、栄養補給法を習得する。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	臨床栄養の概念。意義と目的 栄養ケアの基礎	対面	立野	教科書を読んでおく	4時間
2	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 代謝・内分泌疾患・消化器疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
3	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 循環器疾患・腎疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
4	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 神経疾患・呼吸器疾患・血液系疾患・筋・骨格疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
5	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 免疫・アレルギー疾患・感染症	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
6	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア がん・周術期の管理	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
7	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 摂食障害・乳幼児・小児の疾患・妊産婦・授乳期の疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
8	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 高齢者の疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
成績評価方法・基準	定期試験(80%) 小テスト(20%)				
課題に対するフィードバック	・講義内に小テストを行い、後日解答解説を行う				
教科書	健康・栄養科学シリーズ 臨床栄養学 改訂第3版 南江堂				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス学習相談メッセージ	立野順子(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。				

開設科目名	健康障害論 I	科目コード	BSNLH204	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、今村豊、大崎浩一、岡村孝、福井卓子、大淵俊朗、酒井輝文		
授業の概要(授業の目的)					
健康障害(疾病)の病態生理を理解するとともに、症状、診断、治療、予後について学ぶ(呼吸器疾患、循環器疾患、造血器・血液疾患)。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 健康障害(疾病)の病態生理を理解し、説明できる			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 健康障害(疾病)の症状、診断、治療、予後を説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	呼吸器疾患の症状と診断治療予後① 感冒・インフルエンザ・肺炎等	講義 <面接>	大淵	教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
2	呼吸器疾患の症状と診断治療予後② 慢性閉塞性肺疾患・間質性肺炎等	講義 <面接>	大淵	教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
3	呼吸器疾患の症状と診断治療予後③ 肺がん、じん肺、気管支喘息等	講義 <面接>	大淵	教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
4	呼吸器疾患の症状と診断治療予後④ 急性呼吸促拍症候群、呼吸性アシドーシス・呼吸性アルカローシス等	講義 <面接>	大淵	教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
5	呼吸器疾患の症状と診断・治療・予後⑤ 胸膜・縦郭・横隔膜疾患、肺塞栓、気胸等	講義 <面接>	大淵	教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
6	循環器疾患の症状と診断治療予後① 循環器必須の解剖・生理	講義 <面接>	中山	循環器必須の解剖・生理について学修する。教科書②の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
7	循環器疾患の症状と診断・治療・予後② 虚血性心疾患、心不全、血圧異常	講義 <面接>	中山	安定冠状動脈疾患、急性間症候群等について学修する。教科書②の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
8	循環器疾患の症状と診断・治療・予後③ 不整脈・弁膜症・先天性心疾患	講義 <面接>	中山	徐脈性、頻脈性不整脈、弁膜症、アロー四徴症などについて学修する。教科書②の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨み、復習を行う。	4時間
9	循環器疾患の症状と診断・治療・予後④ 動脈系疾患・静脈系疾患・リンパ系疾患	講義 <面接>	中山	大動脈瘤、大動脈解離、バージャー病、レイノー病、静脈瘤などについて学修する。教科書②の各疾患のページを読み、予習して講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
10	血液疾患の症状と診断・治療・予後① 貧血の分類と治療(鉄欠乏性貧血・再生不良性貧血・溶血性貧血、輸血・輸血後GVHD)	講義 <面接>	今村	教科書③の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
11	血液疾患の症状と診断・治療・予後② 白血病(急性白血病・慢性白血病)	講義 <面接>	今村	教科書③の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
12	血液疾患の症状と診断・治療・予後③ 悪性リンパ腫・紫斑病	講義 <面接>	大崎	教科書③の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
13	血液疾患の症状と診断・治療・予後④ 血友病・播種性血管内凝固症候群(DIC)	講義 <面接>	岡村	教科書③の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
14	検査・治療・処置 (エコー、画像診断、肺機能検査等)	講義 <面接>	酒井	血液検査、心電図検査等について講義中に配布された資料を基に復習に取り組む。	4時間
15	人間ドック検査(血液検査、腫瘍マーカー)	講義 <面接>	福井	人間ドック検査等について講義中に配布された資料を基に復習に取り組む。	4時間
成績評価方法・基準	① 筆記試験 100% (担当者全員による評価)				
課題に対するフィードバック	前回講義した授業項目について毎回小テストを行い、その解説を行う				

<p>教科書</p>	<p>1 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学（2）呼吸器、医学書院 2 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学（3）循環器、医学書院 3 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学（4）血液・造血器</p>
<p>参考書・参考文献</p>	<p>特になし</p>
<p>オフィスアワー、学習相談 メッセージ、その他</p>	<p>中山和道（2号館1階212研究室）、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 ※授業項目を十分理解するためには、1年次の解剖学、生理学、病理学の理解が前提です。復習しておくこと。</p> <p>大淵俊朗（非常勤、呼吸器担当） 授業後半に理解度を確認する小テストを行う。期末テストと小テストの成績を総合的に判断して単位取得の可否を判定する。 小テストの得点が単位取得に影響するので、出席と授業の理解に努めて頂きたい。</p>

開設科目名	健康障害論Ⅱ	科目コード	BSNLH205	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、酒井輝文、東治道、江口義朗、寺田貴武、杉山徹		
授業の概要(授業の目的)					
健康障害(疾病)の病態生理を理解すると共に、症状、診断、治療、予後について学ぶ(口腔、消化器疾患、腎泌尿・生殖器疾患、産科疾患)。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 健康障害(疾病)の病態生理を理解し、説明できる			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 健康障害(疾病)の症状、診断、治療、予後を説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス(消化器系の解剖構造)	講義 <面接>	中山	人体の構造と機能の消化器系の解剖生理を復習の上講義に臨む。教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
2	消化器系の検査 消化管造影検査、内視鏡検査、注腸造影検査、超音波検査	講義 <面接>	酒井	講義内容を復習すること	4時間
3	消化器疾患の症状・診断・治療・予後①食道・胃・十二指腸疾患(食道癌、アカシア、胃炎・胃十二指腸潰瘍・胃癌等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
4	消化器疾患の症状・診断・治療・予後②腸炎・腹膜炎疾患(感染性腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
5	消化器疾患の症状・診断・治療・予後③大腸・イレウス、肛門疾患(腸閉塞、ヘルニア、大腸がん、痔核等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
6	消化器疾患の症状・診断・治療・予後④肝疾患(A型・B型・C型肝炎、肝臓、肝硬変、門脈圧亢進症等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
7	消化器疾患の症状・診断・治療・予後⑤胆のう疾患(胆石症、胆嚢・胆管癌等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
8	消化器疾患の症状・診断・治療・予後⑥膵臓疾患(膵炎(急性膵炎・慢性膵炎)、膵臓癌等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
9	歯科・口腔疾患の症状・診断・治療・予後 う蝕、歯周病、口腔癌(舌癌)等	講義 <面接>	中山	教科書⑤を用いて予習をして講義に臨む。講義後は講義内容を復習すること。	4時間
10	腎・泌尿器疾患の症状・診断・治療・予後:慢性腎臓病・慢性腎不全と血液浄化療法(血液透析、腹膜透析)	講義 <面接>	東	教科書②の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習すること。	4時間
12	泌尿器疾患の症状・診断・治療・予後:尿路感染症、前立腺肥大症、膀胱癌、前立腺癌等	講義 <面接>	江口	教科書②の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習すること。	4時間
13	女性医学	講義 <面接>	寺田	教科書③④の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習すること。	4時間
14	生殖・内分泌疾患等	講義 <面接>	寺田	教科書③④の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習すること。	4時間
15	婦人科腫瘍	講義 <面接>	杉山	教科書③④の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習すること。	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 100% (担当者全員による評価)				
課題に対するフィードバック	毎回講義した授業項目について毎回小テストを行い、その解説を行う				
教科書	① 系統看護学講座、専門分野 成人看護⑤(消化器) 医学書院 ② 系統看護学講座 専門分野 成人看護⑧(腎・泌尿器) 医学書院 ③ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑨(女性生殖器) 医学書院 ④ 系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学(2) 医学書院 ⑤ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑬(歯科・口腔) 医学書院				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスワ- 学習相談 メッセージ その他	中山和道(2号館1階212研究室)、オフィスワ-:火曜日12:10~13:10 ※授業項目を十分理解するためには、1年次の解剖学、生理学、病理学の理解が前提です。復習しておくこと。 注意:講義は複数の講師が担当します。健康障害(疾患)の後に、講師の名前があります。講師の都合で順番が入れ替わることがありますので、時間割表をみて、どの講師が講義を担当するかをチェックして、予習をしてください。				

開設科目名	健康障害論Ⅲ	科目コード	BSNLH206	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、森本修充		
授業の概要(授業の目的)					
健康障害(疾病)の病態生理を理解するとともに、症状、診断、治療、予後について学ぶ(運動器疾患・神経・感覚器疾患、精神疾患)					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 健康障害(疾病)の病態生理を理解し、説明できる				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2. 健康障害(疾病)の症状、診断、治療、予後を説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	運動器疾患の症状・診断・治療・予後① 必須の解剖・機能	講義 <面接>	中山	運動器必須の解剖・機能 教科書①を活用して予習・復習に取り組む。	4時間
2	運動器疾患の症状・診断・治療・予後② 骨折、脱臼、捻挫、打撲	講義 <面接>	中山	骨折の分類、症状・治療、脱臼、捻挫の治療など 教科書①を活用して予習・復習に取り組む	4時間
3	運動器疾患の症状・診断・治療・予後③ 脊髄疾患、上肢および下肢の疾患	講義 <面接>	中山	脊椎損傷、末梢神経損傷、腱靭帯損傷など 教科書①を活用して予習・復習に取り組む	4時間
4	眼科疾患の症状・診断・治療・予後① 機能障害、結膜疾患、眼底疾患	講義 <面接>	中山	眼の構造と機能、屈折、調節の異常、結膜疾患など 教科書③を活用して予習・復習に取り組む	4時間
5	眼科疾患の症状・診断・治療・予後② 白内障、緑内障	講義 <面接>	中山	白内障、緑内障の原因、症状・治療など 教科書③を活用して予習・復習に取り組む	4時間
6	耳鼻咽喉疾患の症状・診断・治療・予後① 外耳・中耳・内耳疾患	講義 <面接>	中山	耳の構造と機能、急性・慢性中耳炎など 教科書④を活用して予習・復習に取り組む	4時間
7	耳鼻咽喉疾患の症状・診断・治療・予後② 鼻・咽喉頭疾患	講義 <面接>	中山	メニエール病、鼻出血、副鼻腔炎、気道異物など 教科書④を活用して予習・復習に取り組む	4時間
8	皮膚疾患の症状・診断・治療・予後① 表在性皮膚疾患、物理・化学的皮膚障害	講義 <面接>	中山	皮膚の構造と機能、湿疹・皮膚炎群、蕁麻疹群、薬疹 など教科書②を活用して予習復習に取り組む	4時間
9	皮膚疾患の症状・診断・治療・予後② 腫瘍および色素異常症	講義 <面接>	中山	メラノサイト系腫瘍、間葉系腫瘍など 教科書②を活用して予習復習に取り組む	4時間
10	皮膚疾患の症状・診断・治療・予後③ 微生物・動物が関与する疾患	講義 <面接>	中山	一般細菌感染症、ウイルス感染症など 教科書②を活用して予習復習に取り組む	4時間
11	麻酔：麻酔一般	講義 <面接>	中山	局所麻酔、全身麻酔の基本、全身麻酔時の麻酔深度 と臨床徴候など	4時間
12	精神疾患の症状、診断、治療、予後①	講義 <面接>	森本	精神疾患について書籍を用いて自己学修を行い、予習 をして講義に臨む。終了後は、配布された講義資料を 参考に講義の復習に取り組む。	4時間
13	精神疾患の症状、診断、治療、予後②	講義 <面接>	森本	精神疾患について書籍を用いて自己学修を行い、予習 をして講義に臨む。終了後は、配布された講義資料を 参考に講義の復習に取り組む。講義の復習	4時間
14	精神疾患の症状、診断、治療、予後③	講義 <面接>	森本	精神疾患について書籍を用いて自己学修を行い、予習 をして講義に臨む。終了後は、配布された講義資料を 参考に講義の復習に取り組む。	4時間
15	脳・神経 必須の解剖・機能(意識障害、高次脳機能障害、運 動機能障害)	講義 <面接>	中山	脳・神経必須の解剖・機能(意識障害・高次脳機能 障害・運動機能障害等) 教科書⑤を活用して予習復習に取り組む。	4時間
成績評価方法・基準	①筆記試験90% ②小テスト10%(成績の良い人は加算する) ※いずれも担当者全員で評価を行う				
課題に対するフィードバック	前回講義した授業項目について毎回小テストを行い、その解説を行う				

<p>教科書</p>	<p>① 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [10] 運動器、医学書院 ② 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [12] 皮膚、医学書院 ③ 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [13] 眼、医学書院 ④ 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉科、医学書院 ⑤ 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [7] 脳・神経、医学書院</p>
<p>参考書・参考文献</p>	<p>特になし</p>
<p>ワイア- 学習相談 メッセージ その他</p>	<p>中山和道 (2号館1階212研究室)、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 ※授業項目を十分に理解するためには1年次の解剖学・生理学・病理学の理解が前提です。復習をしておくこと。</p>

開設科目名	健康障害論Ⅳ	科目コード	BSLH207	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、堀大蔵、佐藤雄一、中野輝明		
授業の概要(授業の目的)					
健康障害(疾病)の病態生理を理解するとともに、症状、診断、治療、予後について学ぶ(内分泌・代謝疾患、免疫・アレルギー疾患・脳神経疾患)。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 健康障害(疾病)の病態生理を理解し、説明できる				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2. 健康障害(疾病)の症状、診断、治療、予後を説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	脳・神経疾患の症状、診断、治療、予後① 脳血管障害(くも膜下出血、脳出血、脳梗塞)	講義 <面接>	中山	くも膜下出血、脳出血、脳梗塞について学修する。 教科書①を活用して予習復習に取り組む	4時間
2	脳・神経疾患の症状、診断、治療、予後② 脳腫瘍、脳の感染症、頭部外傷	講義 <面接>	中山	主な脳腫瘍、脳膿瘍、頭部外傷などについて学修する。 教科書①を活用して予習復習に取り組む	4時間
3	脳・神経疾患の症状、診断、治療、予後③ 脳神経系の感染症、てんかん・認知症	講義 <面接>	中山	水頭症、急性、脊髄炎、頸椎症、腰椎症、脳炎、髄膜炎、認知症を呈する主な疾患について学修する。 教科書①を活用して予習復習に取り組む。	4時間
4	内分泌疾患の症状、診断、治療、予後①	講義	佐藤	教科書②の糖尿病の章を読み予習をして講義に臨む。	4時間
5	代謝・糖脂質代謝	<面接>		講義の後は、復習に取り組む。	4時間
6	内分泌疾患の症状、診断、治療、予後② 甲状腺疾患(バセドウ病、橋本病)、副甲状腺機能亢進、副甲状腺機能低下症	講義 <面接>	佐藤	教科書②の該当疾患の章を読み、予習をして講義に臨む。受講後は、復習に取り組む	4時間
7	内分泌疾患の症状、診断、治療、予後③ 下垂体疾患(先端巨大/巨人症、尿崩症等) 副腎疾患(クッシング症候群、褐色細胞腫)	講義 <面接>	佐藤	教科書②の疾患の章を読み、予習をして講義に臨む。受講後は、復習に取り組む	4時間
8	免疫・アレルギー(膠原病)疾患の診断、治療、予後①免疫の仕組みとアレルギー疾患	講義<面接>	中野	教科書③のアレルギーの章を読み、予習をして講義に臨む。終了後は講義の復習に取り組む。	4時間
9	免疫・アレルギー(膠原病)疾患の診断、治療、予後②関節リウマチ等	講義<面接>	中野	予習をして講義に臨む。終了後は講義の復習に取り組む。	4時間
10	免疫・アレルギー(膠原病)疾患の診断、治療、予後③全身性エリテマトーデス、強皮症等	講義<面接>	中野	予習をして講義に臨む。終了後は講義の復習に取り組む	4時間
11	感染症 免疫機能低下に伴う感染症について	講義<面接>	中野	テキストの予習と復習、講義の復習	4時間
12	産科①妊娠の異常・ハイリスク妊娠とは	講義<面接>	堀	妊娠の異常、ハイリスク妊娠などについて事前に学修し、講義に臨む。講義の復習に取り組む。	4時間
13	産科②異常妊娠 流産・妊娠高血圧症候群 多胎妊娠他 偶発全身性疾患(婦人科疾患は除く) 糖尿病・妊娠糖尿病他	講義 <面接>	堀	流産・妊娠高血圧症候群、多胎妊娠他 偶発全身性疾患(婦人科疾患は除く) 糖尿病・妊娠糖尿病他について、事前に学修して講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
14	産科③胎児発育異常・胎児機能不全	講義<面接>	堀	胎児発育異常、胎児機能不全、分娩の異常について事前に学修して講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
15	まとめ	講義<面接>	中山	全体の振り返りを行う。	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 100% (担当者全員で評価する)				
課題に対するフィードバック	最後の講義日に全体の振り返りを行う				
教科書	① 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護⑦ 脳・神経疾患 ② 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護⑥ 内分泌、代謝 医学書院 ③ 系統看護学講座、専門Ⅱ 成人看護⑩ アレルギー・膠原病、感染症 医学書院 ④ 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学2 医学書院				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアア- 学習相談 メッセージ その他	中山和道(2号館1階212研究室)、オフィスアワー:火曜日12:10~13:10 ※授業項目を十分理解するためには、1年次の解剖学、生理学、病理学の理解が前提です。復習しておくこと。 注意:講義は複数の講師が担当します。健康障害(疾患)の後に、講師の名前があります。講師の都合で順番が入れ替わることがありますので、時間割表をみて、どの講師が講義を担当するかをチェックして、予習してください。				

開設科目名	薬理学	科目コード	BSNLH208	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	田中正敏	担当者	田中正敏		
授業の概要(授業の目的)					
薬物の起源、性状、生体に対する作用、作用機転、吸収、生体内変化、排泄、治療的应用、中毒、製剤、薬物の取り扱い管理などについて講義する。内容としては、総論では①薬理作用の分類 ②薬物の種類、効き方 ③薬物の吸収・排泄 ④用量と薬理作用 ⑤薬物の毒性などで、各論では①中枢神経作用薬 ②末梢神経作用薬 ③自律神経作用薬 ④循環器・呼吸器作用薬 ⑤消化器作用薬 ⑥抗生物質・抗腫瘍薬などで、代替療法、さらに東洋医学的な漢方・鍼灸についても学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 薬物の生体に対する作用、作用機転、吸収、分布、代謝、排泄、治療的应用、中毒、薬物の取り扱い、管理などについて述べる事ができる。			3 看護実践知識		
2) 中枢神経作用薬、末梢神経作用薬、循環器作用薬、呼吸器作用薬、利尿薬、消化器作用薬などについて主な作用と副作用、臨床応用について述べる事ができる。			4 論理的・科学的問題発見力		
3) これらの知識を応用して適切な服薬指導を行う事ができる。			5 問題解決判断力		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	薬理学の概念、薬理作用の分類、薬物の種類 薬の効き方(作用機序、機転)	講義<面接>	田中	復習: 冊子として配布されているシラバスを講義後に読むこと	4時間
2	薬物の生体膜通過、 薬物の吸収・分布、 薬物の代謝・排泄	講義<面接>	田中	教科書の薬の効き方の図を見て復習する 教科書の吸収・分布の図を見て復習する 教科書の代謝・排泄の図を見て復習する	4時間
3	薬物動態値、用量と薬理作用	講義<面接>	田中	用量と薬理作用の図を描いて復習する	4時間
4	応用法と薬理作用、 反復応用と薬理作用	講義<面接>	田中	応用法ごとの長所・短所をまとめる 反復応用であることを述べる	4時間
5	薬物の併用でみられる作用、 薬物に対する反応性の違い・薬物の毒性	講義<面接>	田中	拮抗について教科書の図を見て復習する 教科書の薬物アレルギーの図を見て復習する	4時間
6	麻酔薬・睡眠薬	講義<面接>	田中	教科書の麻酔薬・睡眠薬の図を見て復習する	4時間
7	抗けいれん薬・抗てんかん薬 鎮痛薬・解熱薬	講義<面接>	田中	教科書の抗てんかん薬の図を見て復習する 教科書の鎮痛薬の図を見て復習する	4時間
8	向精神薬・中枢興奮薬	講義<面接>	田中	教科書の向精神薬の図を見て復習する	4時間
9	アルコール 抗パーキンソン病薬・認知症治療薬	講義<面接>	田中	教科書のアルコールの図を見て復習する 教科書の抗パーキンソン病薬の図を見て復習する	4時間
10	局所麻酔薬・筋弛緩薬	講義<面接>	田中	教科書の局所麻酔薬・筋弛緩薬の図を見て復習する	4時間
11	自律神経作用薬	講義<面接>	田中	教科書の自律神経作用薬の図を見て復習する	4時間
12	循環器作用薬・血液作用薬・生体内活性物質	講義<面接>	田中	教科書の循環器作用薬・血液作用薬の図を見て復習する	4時間
13	呼吸器作用薬・利尿薬	講義<面接>	田中	教科書の呼吸器作用薬・利尿薬の図を見て復習する	4時間
14	消化器作用薬 化学療法薬、抗生物質、抗腫瘍薬	講義<面接>	田中	教科書の消化器作用薬の図を見て復習する 教科書の化学療法薬の図を見て復習する	4時間
15	ホルモン及びその関連物質 代替療法、東洋医学的な漢方・鍼灸	講義<面接>	田中	教科書のホルモン及びその関連物質の図を見て復習する 教科書の東洋医学的な漢方の図を見て復習する	4時間
成績評価方法・基準	①定期試験(筆記試験) 100%(田中)				
課題に対するフィードバック	講義内に小テストを行い、その解答解説を行う				
教科書	田中正敏著『新版 超図解 薬はなぜ効くか』講談社 2023				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	田中正敏(非常勤) 講義にパワーポイント使用。別途シラバスを配布するので講義の要点をその都度記載していくこと 講義者自身が著者として記載した「薬理学書」を使用します				

開設科目名	データテラシー演習	科目コード	BSNLH209	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代 小田まり子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>データテラシー基礎を発展させたパソコン演習によって、データを活用した意思決定に必要な手法としての推測統計の思考と、その背景にある統計学の基礎知識を学ぶ。</p> <p>また、地域の健康課題解決のためのデータ利活用にもむけ、プログラミングを体験し、トライアンドエラーを通して論理的思考を身に着ける。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 実データを用いて、データの可視化ができる。				医療の基礎	
2) 推測統計の意味を理解し、仮説検証型の分析ができる。					
3) JMPとプログラミングソフトの操作ができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	大規模データの可視化 —データの特性の記述	講義・演習 (面接)	堤	予習:教科書 P6~31 を読んでおく。 復習: JMP による演習課題を行う。	4時間
2	データマネジメント —データクレンジングとハンドリング	講義・演習 (面接)	堤	予習:教科書 P70~85 を読んでおく。 復習: JMP による演習課題を行う。	4時間
3	確率分布 —母平均の区間推定	講義・演習 (面接)	堤	予習:教科書 P86~97 を読んでおく。 復習: JMP による演習課題を行う。	4時間
4	仮説検定 —平均の検定	講義・演習 (面接)	堤	予習:教科書 P106~125 を読んでおく。 復習: JMP による演習課題を行う。	4時間
5	2変数の検定 —相関、回帰、カイ二乗検定	講義・演習 (面接)	堤	復習:大規模データを用いて仮説に基づいた分析を行う。	4時間
6	AIとビッグデータ —データ・AI利活用の最新動向	講義・演習 (面接)	小田 堤	復習: ICTテクノロジーの看護への応用を考察する。	4時間
7	プログラミング演習 —プログラミング用語の理解	演習 (面接)	小田 堤	予習: 前回授業内容を振り返る。 復習: 授業で提示された課題のプログラミングを行う。	4時間
8	プログラミング演習 —AIの基本的仕組み	演習 (面接)	小田 堤	予習: 前回授業内容を振り返る。 復習: 授業で提示された課題のプログラミングを行う。	4時間
成績評価方法・基準	データ分析レポート100%(評価者:堤)				
課題に対するフィードバック	レポートに対する指導は、個別にフィードバックします。				
教科書	豊田修一他著『やさしい統計処理』実教出版				
参考書・参考文献	柳川堯他著『新 看護・リハビリ・福祉のための統計学』 三井正著『JMPではじめるデータサイエンス』				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>本科目は、society5.0に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。「データテラシー基礎」等で学んだ知識に積み上げ、統計ソフト JMP の演習を通じ、データ分析の実際を学びます。また、次年度の「データ分析応用基礎」で行う地域課題解決演習の準備となるプログラミング技術も学びます。</p> <p>対面授業は、パソコン室(242教室)で行います。各自でUSBメモリーを持参してください。</p> <p>堤 千代(2号館1F 220研究室) オフィスアワー: 火曜 12:10~13:10 tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com</p> <p>私の研究分野は、看護におけるバイオ統計学の応用です。これまで研究で用いた方法の基礎的内容について、授業全般を通して教授します。久留米工業大学 AI 応用研究所の先生と共に、A 技術の実際に触れ、楽しく学びます。</p>				

開設科目名	看護診断学	科目コード	BSNBA201	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、小浜さつき、石本祥子		
授業の概要(授業の目的)					
看護診断の歴史、概念を理解した上でロイ適応看護モデルに基づき各適応様式に沿って、行動のアセスメント、刺激のアセスメント、看護診断までのプロセスを case study を基に学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 看護診断の歴史、概念を説明できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. ロイ適応看護モデルの生理的様式・自己概念様式・役割機能様式・相互依存様式における看護診断までのプロセスと看護診断カテゴリーについて述べる事が出来る。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護診断の歴史と看護診断の概念	講義 <対面>	日高	教科書①の第2部、看護診断を事前に読んで予習し講義に参加すること。講義終了後に復習に取り組む。	4時間
2	ロイ適応看護モデルに基づく看護過程	講義 <対面>	日高	教科書②の第2章～第4章を事前に読んで予習し講義に参加すること。講義終了後に復習に取り組む。	4時間
3	酸素摂取における看護診断	講義 <対面>	石本	教科書②の第5章、酸素摂取 Case Study① 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
4	栄養における看護診断	講義 <対面>	石本	教科書②の第6章、栄養 Case Study② 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
5	排泄における看護診断	講義 <対面>	石本	教科書②の第7章、排泄 Case Study③ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
6	活動と休息における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第8章、活動と休息④ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
7	防衛における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第9章、防衛 Case Study⑤ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
8	感覚における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第10章、感覚 Case Study⑥ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
9	体液、電解質・酸・塩基平衡における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第11章、体液、電解質・酸・塩基平衡⑦ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
10	内分泌機能における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第13章、内分泌機能 Case Study⑧ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
11	神経機能における看護診断	講義 <対面>	日高	教科書②の第12章、神経機能⑨ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
12	自己概念様式における看護診断	講義 <対面>	日高	教科書②の第14章、自己概念様式 Case study⑩ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
13	役割機能様式における看護診断	講義 <対面>	日高	教科書②の第15章、役割機能様式 Case Study⑪ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
14	相互依存様式における看護診断	講義 <対面>	日高	教科書②の第16章相互依存様式 Case Study⑫ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
15	まとめ(4つの適応様式の Case Study 他)	講義 <対面>	日高	教科書② Case Study⑬ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
成績評価方法・基準	レポート100%(評価者:科目責任者)				
課題に対するフィードバック	講義で実施した Case study については各担当教員が返却します。				
教科書	① 監訳 日本看護診断学会, NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023. 医学書院, 2021 ② 松木光子監訳, ザ・ロイ適応看護モデル第2版, 医学書院, 2010. ③ 病気がみえるシリーズ: 1 消化器、2 循環器、3 糖尿病・代謝・内分泌、4 呼吸器、7 脳・神経、8 腎・泌尿器、 11 運動器・整形外科、医療情報科学研究所編集、メディックメディア (注意) 上記教科書は基盤臨床看護学領域の他の科目および臨床実習においても使用します				

参考書・参考文献	特になし
<p>ワイアワー 学習相談 メッセージ その他</p>	<p>日高艶子（7号館3階731研究室）、オフィスアワー：金曜日16：00-17：00 本科目の受講要件は、看護学総論、臨床看護学概論、臨床看護理論学、臨床基礎技術論Ⅰ、スキルラボ基礎レベル1の単位を修得し、臨床基礎技術論Ⅱ、スキルラボ基礎レベル2を受講し、学習目標に到達する見込みのある者とする。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 第2回については、Roy Academia Nursology Research Centerが取り組んでいる研究成果を一部参照して、講義を展開します。</p>

開設科目名	スキルラボ臨床レベル 1	科目コード	BSNBA202	開設期	2 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	演習
責任者	小浜さつき	担当者	小浜さつき、日高艶子、崎田マユミ、鶴田明美、中村和代、近末清美、石本祥子、山口智治、有働由樹、綱脇慎治、長友奈央他		
授業の概要 (授業の目的)					
看護診断学で学習したロイ適応看護モデルの生理的様式の行動のアセスメント、刺激のアセスメントを行うために必要な成人期にある対象者の身体診察技術を習得する、また、小児・妊娠期・老年期などの特定の成長発達段階に応じた身体診察技術を習得する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) フィジカルアセスメントの基本技術 (視診・触診・聴診・打診) を実施できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2) フィジカルアセスメントに必要な身体の各部位の名称やランドマークを述べることができる。					
3) 胸部、腹部、骨・関節、皮膚・リンパ、感覚・神経のフィジカルアセスメントで確認すべき項目を列挙し、安全・安楽に配慮して実施できる。					
4) 小児・妊娠期・老年期などの成長発達に応じた身体診察技術を習得する。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	フィジカルアセスメントの基本技術 視診・聴診・触診・打診の技法	講義と実技 〈面接〉	小浜	教科書①第 8 章の p295 に記載されている胸郭の骨格を予習してくる。T シャツを配布します。ランドマークや基本的な解剖構造を確認し、復習しましょう。	4 時間
2	胸部のフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	有働他	教科書①(第 8・9 章)を読んでおく、胸部の事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅等で練習する、 演習内容の復習	4 時間
3	胸部のフィジカルアセスメント②Skills Lab.	実技〈面接〉			4 時間
4	学習到達度評価、フィードバック				
5	腹部のフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	石本他	教科書①(第 11 章)を読んでおく、腹部の事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅等で練習する、 演習内容の復習	4 時間
6	腹部のフィジカルアセスメント②Skills Lab.	実技〈面接〉			4 時間
7	骨・関節のフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	小浜他	教科書①(第 16 章)を読んでおく、骨・関節の事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅等で練習する、 演習内容の復習	4 時間
8	骨・関節のフィジカルアセスメント②Skills Lab	実技〈面接〉			4 時間
9	学習到達度評価、フィードバック				
9	皮膚・リンパのフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	長友他	教科書①(第 6・12 章)を読んでおく、皮膚・リンパの事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅等で練習する、 演習内容の復習	4 時間
10	皮膚・リンパのフィジカルアセスメント②Skills Lab	実技〈面接〉			4 時間
11	学習到達度評価、フィードバック				
12	感覚・神経のフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	小浜 日高	教科書①(第 7・17 章)を読んでおく、感覚・神経の事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅等で練習する、 演習内容の復習	4 時間
13	感覚・神経のフィジカルアセスメント②Skills Lab	実技〈面接〉			4 時間
14	学習到達度評価、フィードバック				
15	小児期のフィジカルアセスメント	講義と実技 〈面接〉	山口他	授業内ラボや自宅で繰り返し練習する	4 時間
成績評価方法・基準	学習到達度評価 100% (各担当教員がルーブリックを活用して学修到達度を評価します。合計得点を 100 点に換算します。)				
課題に対するフィードバック	* 技術試験の結果・コメントはその日のうちにお知らせします。合格点に未到達の方には後日再試験を行います。				
教科書	① Lynn S.Bickley 他著,福井次矢他監修:ペイツ診察法 第 2 版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2015.				
参考書・参考文献	Lynn S.Bickley 他著,福井次矢他監修:ペイツ診察法ポケットガイド 第 3 版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2015.				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	小浜さつき (2号館 1階 242 研究室) オフィスアワー: 火曜日 16:30~18:00 フィジカルアセスメントをしっかり学んで確実に技術を習得しましょう。担当教員がグループの指導に入りますので、分からないことは積極的に質問して解決してください。正確で安全な技術習得のために自己学修が必須となります。しっかり自己学修を行って下さい。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です ICT の活用: 練習動画を Stream にアップしています。自宅での学修に使用してください。 研究成果: 教員の研究成果や、専門領域の看護実践について一部紹介します。				

開設科目名	成人・老年看護学ケア論Ⅰ	科目コード	BSNBA203	開設期	2年 前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	鶴田明美	担当者	鶴田明美、崎田マユミ、他		
授業の概要(授業の目的)					
成人老年看護学概論で学修した成人期の対象の特徴をふまえて、急性の経過をたどる患者、慢性の経過をたどる患者の適応を促す看護について学修する。さらに、ケーススタディを用いて行動のアセスメント、刺激のアセスメント、看護診断、目標設定、介入計画立案までを学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 急性及び慢性の経過をたどる患者・家族の特性を理解できる			医療の基礎		
2. 急性及び慢性の経過をたどる患者・家族の適応を促す看護について理解できる			ロイ適応看護モデル		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	急性の経過をたどる患者の特性と患者・家族に対する看護	講義<面接>	鶴田	教科書③p2-161 予習	4時間
2	酸素摂取に問題を持つ患者のケア①	講義<面接>	鶴田	教科書③ p 221-239 予習	4時間
3	酸素摂取に問題を持つ患者のケア②	講義<面接>	鶴田	教科書③ p 221-239 予習	4時間
4	栄養・排泄に問題を持つ患者のケア①	講義<面接>	鶴田	教科書③ p 260-278 予習	4時間
5	栄養・排泄に問題を持つ患者のケア②	講義<面接>	鶴田	教科書③ p 260-278 予習	4時間
6	栄養・排泄に問題を持つ患者のケア③	講義<面接>	尾形 GS	講義資料配布	4時間
7	防衛に問題を持つ患者のケア①	講義<面接>	鶴田	教科書③p336-354 予習	4時間
8	防衛に問題を持つ患者のケア②	講義<面接>	鶴田	教科書③p336-354 予習	4時間
9	慢性の経過をたどる患者の特性と患者・家族に対する看護	講義<面接>	崎田	教科書④ p 2-150 予習	4時間
10	酸素摂取に問題を持つ患者のケア③	講義<面接>	崎田	教科書④ p 250-275 予習	4時間
11	酸素摂取に問題を持つ患者のケア④	講義<面接>	崎田	教科書④ p 250-275 予習	4時間
12	内分泌機能に問題を持つ患者のケア①	講義<面接>	崎田	教科書④ p 156-166、④p367-	4時間
13	内分泌機能に問題を持つ患者のケア②	講義<面接>	崎田	399 予習	4時間
14	体液電解質、酸・塩基平衡に問題を持つ患者のケア①	講義<面接>	崎田	教科書④ p 167-177、p400-	4時間
15	体液電解質、酸・塩基平衡に問題を持つ患者のケア②	講義<面接>	崎田	418 予習	4時間
成績評価方法・基準	・定期試験 90% ・小テスト 10% ・成績評価：鶴田、崎田				
課題に対するフィードバック	事前課題(ケーススタディ)は担当教員から事前に提示されます。 課題に対するフィードバックは、講義中または後日コメントを付して返却します				
教科書	① シスター・カリスト・ロイ(2009)/松木光子監訳(2010):ザ・ロイ適応看護モデル,第2版,医学書院。 ② 監訳日本看護診断学会,NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023,医学書院,2021。 ③ 林直子他編:成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護(改訂第4版),南江堂,2023。 ④ 鈴木久美他編:成人看護学 慢性期看護(改訂第4版),南江堂,2023。				
参考書・参考文献	・「病が見える」シリーズ ・佐藤まゆみ他編:成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア(改訂第4版),南江堂,2023。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	・オフィスアワー:下記時間以外は事前に予約をしてください。 鶴田明美(2号館1階223号室) 火曜 16:00~17:00 tsuruta@stmaryacjp.onmicrosoft.com 崎田マユミ(7号館3階733号室) 火曜 16:30~17:30 sakita@stmaryacjp.onmicrosoft.com ・メッセージ:人体の構造と機能、ロイ適応看護モデル入門の復習を行い講義に臨んでください。 ・その他:この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	成人・老年看護学ケア論Ⅱ	科目コード	BSNBA204	開設期	2年 後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	中村 和代	担当者	中村 和代、網脇 慎治、他		
授業の概要(授業の目的)					
加齢に伴う身体・精神機能の変化と、高齢者に生じやすい症候や健康障害の発生機序について学ぶ。高齢者の特徴を踏まえたケーススタディを用いて、行動のアセスメント、刺激のアセスメント、看護診断、目標設定、介入計画立案までを学修する。					
学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連				
1. 高齢者に起こりやすいコミュニケーション障害と看護について説明できる	医療の基礎/ロイ適応看護モデル				
2. 高齢者における食生活の意義・誤嚥リスクがある高齢者の看護について説明できる					
3. 転倒・骨折・廃用症候群のリスクが高い高齢者の看護について説明できる					
4. 排泄障害のある高齢者の看護について説明できる					
5. 睡眠障害のある高齢者の看護について説明できる					
6. 皮膚統合性障害リスクのある高齢者の看護について説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※ すべて、対面授業、状況次第では、オンライン(Teams)で実施					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス/感覚器に問題を持つ高齢者の看護	講義<対面>	中村	テキスト①第5章,F.第4章,B.を読んで臨む	4時間
2	栄養・食生活に問題を持つ高齢者の看護	講義<対面>	中村	第4章,B.第5章,B.を読んで臨む	4時間
3	排泄(排尿)に問題を持つ高齢者の看護	講義<対面>	中村	第4章,B.第5章C.を読んで臨む	4時間
4	排泄(排便)に問題を持つ高齢者の看護	講義<対面>	網脇	第4章,B.第5章C.を読んで臨む	4時間
5	活動に問題を持つ高齢者の看護	講義<対面>	網脇	第4章,B.第5章A,第6章B.を読んで臨む	4時間
6	休息に問題を持つ高齢者の看護	講義<対面>	網脇	第4章,B.第5章E.読んで臨む	4時間
7	防衛に問題を持つ高齢者の看護①	講義<対面>	中村	第4章,B.第5章D,第6章A.を読んで臨む	4時間
8	防衛に問題を持つ高齢者の看護②	講義<対面>	中村	第4章B,第5章D,第6章A	4時間
成績評価方法・基準	定期試験(70%), 授業内課題(20%), 参加態度(10%) 評価者: 中村、網脇				
課題に対するフィードバック	授業内課題は、採点后、返却いたします。				
教科書	①中島紀恵子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院 ②シスター・カリスト・ロイ/松木光子監訳:ザ・ロイ適応看護モデル,第2版,医学書院 ③NANDA-1 看護診断定義と分類 医学書院				
参考書・参考文献	・山田律子他「生活機能からみた老年看護過程」第4版 医学書院 ・鳥羽研二他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論」医学書院 ・太田喜久子 編著「老年看護学 高齢者の健康生活を支える看護」第2版,医歯薬出版株式会社,2017. ・泉 キヨ子他「看護実践のための根拠がわかる老年看護技術」第4版,メジカルフレンド社,2022. ・水野信子他「最新 老年看護学」日本看護協会出版会,2022				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	オフィスアワー: 毎週(月) 16:30-17:30, 学習相談は随時受け付けます。 中村 和代(6号館2階 625研究室・内線217), Office365のメールの利用も可 ケーススタディには、事前学修をして臨んでください。成人・老年看護学概論の復習をして臨みましょう。 *ICTの活用: 参考資料などはTeams「2023 成人・老年看護学ケア論Ⅱ」ファイル内にアップロードします。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	成人・老年看護学ケア論Ⅲ	科目コード	BSNBA205	開設期	2年 後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	崎田 マユミ	担当者	鶴田明美、崎田マユミ、他		
授業の概要 (授業の目的)					
本科目では、高度な医療の発展、在院日数の短縮化という社会的背景を踏まえ、急性期から慢性期・生活期へ、または慢性期から急性期へ、生活期から急性期へと移行していく成人期の患者に対する適応を促す看護について学修する。また、ケーススタディを基に、移行期における症状マネジメント・再発予防などの患者・家族への教育について学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 今日の医療を取り巻く環境を踏まえ、急性期から慢性期・生活期へ、または慢性期から急性期へ、生活期から急性期へと移行していく成人期患者の適応を促す看護について理解を深める				医療の基礎	
2) ケーススタディをもとに、移行期における症状マネジメント・再発予防などの患者と家族への教育について理解を深める				ロイ適応看護モデル	
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス 今日の医療の発展、在院日数の短縮化、移行期していく患者の症状マネジメント・再発予防、患者と家族への教育	講義 <面接>	崎田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
2	生活期・慢性期から急性期へと移行していく患者と家族のケア ①	講義 <面接>	崎田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
3	急性期から慢性期・生活期へと移行していく患者と家族のケア ②	講義 <面接>	崎田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
4	急性期から慢性期・生活期へと移行していく患者と家族のケア ③	講義 <面接>	崎田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
5	急性期から慢性期・生活期へと移行していく患者と家族のケア ④	講義 <面接>	鶴田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
6	急性期から慢性期・生活期へと移行していく患者と家族のケア ⑤	講義 <面接>	鶴田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
7	生活期・慢性期から急性期へと移行していく患者と家族のケア ⑥	講義 <面接>	鶴田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
8	まとめ：移行期における患者と家族のケア	講義・討議 <面接>	各担当者	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
成績評価方法・基準	定期試験 80%、課題レポート 20%。 (評価者：鶴田、崎田)				
課題に対するフィードバック	移行期の患者と家族のケアおよび教育的支援について理解を深めましょう。 課題レポートは後日コメントとともに返却します。				
教科書	① シスター・カリスト・ロイ/松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第2版，医学書院 ② T.ヘザー・ハードマン/上鶴重美：NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023 原著第12版，医学書院 ③ 成人・老年看護学ケア論Ⅰで用いた教科書・資料				
参考書・参考文献	・『病気がみえる』シリーズ				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	・オフィスアワー： 崎田マユミ (7号館3階 733号室) 火曜 16:30~17:30 sakita@stmaryacjp.onmicrospft.com 鶴田明美 (2号館1階 223号室) 火曜 16:00~17:00 tsuruta@stmaryacjp.onmicrosoft.com ※上記時間以外は事前に予約してください。 ・移行期におけるケアの理解を深めるために、解剖生理、病態等の復習を十分に行なううえで授業に臨んで下さい。ケーススタディや課題レポートを通して、移行期における患者と家族のケアについて理解を深めましょう。 ・その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	スキルラボ臨床レベル 2	科目コード	BSNBA206	開設期	2年 後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	演習
責任者	鶴田明美	担当者	鶴田明美、崎田マユミ、中村和代、近末清美、小浜さつき、石本祥子、綱脇慎治、有働由樹、他		
授業の概要 (授業の目的)					
成人老年看護学ケア論Ⅰ・ケア論Ⅱ・ケア論Ⅲで習得した知識を基に、成人老年期にある患者の行動に影響を及ぼす刺激を調整するためのケア技術を習得する。医療技術の進歩に伴い医療現場で活用されている ME 機器 (医療工学機器) の取り扱いについても学習する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1. 酸素摂取、栄養、排泄、活動と休息、防衛、体液、電解質、酸・塩基平衡、服薬に関するケア技術を安全安楽に実施できる			医療の基礎		
2. ME 機器 (医療工学機器) を安全に操作する方法・留意点を習得できる			ロイ適応看護モデル		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	コースガイダンス 酸素摂取に関するケア技術① (酸素療法、酸素ボンベ、モニター心電図、一時的吸引)	討 論・実 技 〈面接〉	鶴田他	教科書予習 p288-312,427-429,443-444 提示された事前課題をする。	4 時間
2	酸素摂取に関するケア技術② Skill Lab	実技〈面接〉	鶴田他	スキルラボで技術練習を繰り返し行う	
3	酸素摂取に関するケア技術③ (人工呼吸、吸入療法、体位排痰法) 輸血に関するケア技術	討 論・実 技 〈面接〉	鶴田他	教科書予習 p297,301-302,312-313,403-410 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
4	防衛に関するケア技術 (創傷処置、無菌操作、ガウンテクニック)	討 論・実 技 〈面接〉	鶴田他	教科書予習 p126-139,332-342 提示された事前課題をする。 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
5	栄養に関するケア技術 (経管栄養・経鼻胃カテーテル法)	討 論・実 技 〈面接〉	石本他	教科書予習 p169-174. 提示された事前課題をする。 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
6	排泄に関するケア技術① (導尿、浣腸)	討 論・実 技 〈面接〉	石本他	教科書予習 p194-202. 提示された事前課題をする。	4 時間
7	排泄に関するケア技術② Skill Lab	実技〈面接〉	石本他	スキルラボで技術練習を繰り返し行う	
8	活動と休息に関するケア技術 (移動)	討 論・実 技 〈面接〉	小浜他	教科書予習 212-219,231-235. 提示された事前課題をする。 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
9	防衛に関するケア技術 (褥瘡管理、体圧測定)	討 論・実 技 〈面接〉	中村他	教科書予習 p346-352. 提示された事前課題をする。	4 時間
10	体液、電解質、酸・塩基平衡に関するケア技術① (採血、静脈内注射、点滴管理・輸液ポンプ管理)	討 論・実 技 〈面接〉	崎田他	教科書 p392-398,432-433 予習。 提示された事前課題をする。 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
11	体液、電解質、酸・塩基平衡に関するケア技術② Skill Lab	実技〈面接〉	崎田他		
12	薬物療法に関するケア技術① (注射法)	討 論・実 技 〈面接〉	近末他	教科書 p375-391 予習。 提示された事前課題をする。	4 時間
13	薬物療法に関するケア技術② Skill Lab	実技〈面接〉	近末他	スキルラボで技術練習を繰り返し行う	
14	与薬に関するケア技術 (与薬法)	討 論・実 技 〈面接〉	小浜他	教科書予習 p366-374. 提示された事前課題をする。	4 時間
15	検査に関するケア技術 (尿、血液検査、画像検査等)	討 論 〈面接〉	小浜他	教科書予習 p422-441. 提示された事前課題をする。	4 時間

成績評価方法・基準	技術試験 100% (担当教員全員)
課題に対するフィードバック	事前課題へのフィードバックは、後日コメントを付して返却します 技術試験の結果は、当日フィードバックします
教科書	松尾ミヨ子他編：ナースング・グラフィカ基礎看護学②基礎看護技術Ⅱ，第1版，2022
参考書・参考文献	・シスター・カリスト・ロイ著／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第2版，医学書院，2010. ・T.ヘザー・ハードマン／上鶴重美：NANDA- I 看護診断 定義と分類 2021-2023，原著第11版，医学書院，2021.
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>* オフィスアワー：鶴田明美 (2号館1階 223号室) 火曜 16:00~17:00 事前に連絡をしてください。</p> <p>・本科目の進め方：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に提示された事例について、デモンストレーション、クリティカルシンキング、ディスカッションの後に実技演習を行います。 ・第1回のコースガイダンスで各回の日程及び授業内容について説明します。各回の担当者は変更になる場合があります。 <p>・ICTの活用：テキストに掲載されているアプリを技術の予習・復習に使用します。</p> <p>・その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。</p>

開設科目名	適応促進基礎実習 I	科目コード	BSNBA207	開設期	2 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	45 時間	授業区分	実習
責任者	石本祥子	担当者	石本祥子、崎田マコミ、鶴田明美、近未清美、小浜さつき、綱脇慎治 有働由樹 他		
授業の概要 (授業の目的)					
成人期または老年期の患者の適応を促進するために、ロイ適応看護モデルに基づき、行動のアセスメント、行動に影響を及ぼしている刺激について検討し、看護診断を特定する。さらに、患者や家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 観察や測定の技術を用い、必要な情報を患者から系統的に収集できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 適応・非効果的行動の分類が出来る。					
3. 行動に影響を及ぼしている全ての刺激を抽出できる。					
4. 刺激を焦点刺激・関連刺激・残存刺激に分類できる。					
5. 看護診断を考えることが出来る。					
6. 最も重視した看護専門職として期待される意識や態度について述べることが出来る。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Nursing Clinical Handbook (実習ハンドブック) 参照	実習 (面接)	各指導教員	実習ハンドブック、オリエンテーション資料を読んでおく 患者の疾患・病態、検査・治療・薬剤に関する学習 ロイ適応看護モデルの復習 観察や測定の技術の復習 その他、関連科目の復習や各自の不足する内容を学習する	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準	適応促進基礎実習 I 評価表に基づく評価 100% 成績評価は、本実習を担当した教員全員で行います。				
課題に対するフィードバック	実習開始前から実習終了後まで学習についてのアドバイスを適宜行います。				
教科書	①シスター・カリスト・ロイ/松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル第 2 版,医学書院, 2010. ②T.ヘザー・ハードマン/上鶴重美：NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023 原著第 12 版,医学書院,2021.				
参考書・参考文献	①Lynn S. Bickley 他, 福井次矢監修：バイツ療法 ポケットガイド第 3 版, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015. ②病気がみえるシリーズ				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	実習全般に関するお問い合わせ 石本祥子 (2号館 1階 224 研究室) オフィスアワー：水曜 12:10~13:10. 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をしてください。メールアドレス：ishimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 各実習病棟での学習に関するお問い合わせは、実習担当教員にご連絡下さい。 ICT の活用：実習に必要な記録用紙は webclass にあります。各自で準備をお願いします。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 自身の研究成果と科目内容の関連はありません。				

開設科目名	適応促進基礎実習Ⅱ	科目コード	BSNBA208	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	90時間	授業区分	実習
責任者	小浜さつき	担当者	小浜さつき、日高艶子、崎田マユミ、鶴田明美、近末清美、石本祥子、有働由樹他		
授業の概要(授業の目的)					
成人期または老年期の患者の適応を促進するために、ロイ適応看護モデルに基づき看護を実践する。また、対象者の生命・生活過程における適応レベル(統合・代償・障害)について考察する。さらに、患者と家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 観察や測定技術をを用い、必要な情報を患者から系統的に収集できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2) 適応・非効果的行動の分類ができる。					
3) 行動に影響を及ぼしている全ての刺激を抽出できる。					
4) 刺激を焦点刺激、関連刺激、残存刺激に分類できる。					
5) 看護診断をリストアップできる。					
6) 看護診断の優先順位を考えることができる。					
7) 看護診断に沿って、対象に応じた目標設定ができる。					
8) 刺激に介入するための看護計画を立案し介入できる。					
9) 実施した看護の評価ができる					
10) 対象者の生命・生活過程における適応レベル(統合・代償・障害)について考察できる。					
11) 看護専門職として期待される意識や態度について述べるができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※遠隔授業の場合の方法: Zoom または Teams による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Nursing Clinical Practicum Hand Book(実習ハンドブック) 参照	実習 <面接>	各指導 教員	実習ハンドブックおよびオリエンテーション資料を読んでおく 患者の疾患・病態、検査・治療・薬剤に関する学習 ロイ適応看護モデルの復習 観察や測定技術の復習 その他、各自の不足する内容を学習する	10時間 以上
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
成績評価方法・基準	適応促進基礎実習Ⅱの評価表に基づく評価 100% (評価者: 各実習担当教員)				
課題に対するフィードバック	実習中のフィードバックは実習場、またはカンファレンスで随時実施する。 実習の全体を通しての評価は、実習終了日に各実習指導者、担当教員が最終カンファレンスにおいて実施する。				
教科書	・シスター・カリスター・ロイ著/松木光子監訳: ザ・ロイ適応看護モデル, 第2版, 医学書院, 2010. ・T.ヘザー・ハードマン/上鶴重美: NANDA- I 看護診断 定義と分類 2021-2023, 原著第12版, 医学書院, 2021.				
参考書・参考文献	・Lynn S. Bickley 他, 福井次矢監修: ベイツ診療法 ポケットガイド第3版, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015. ・病気がみえるシリーズ				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	小浜さつき(2号館1階222研究室) オフィスアワー: 火曜16:30~18:00 実習全般に関する問い合わせや相談は科目責任者、各実習病棟の実習に関する問い合わせ等は各指導教員にご連絡下さい。 実習担当教員は、実習オリエンテーションの際にお知らせします。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 この科目には情報リテラシー教育(情報モラルに関する内容)も含まれます。 各担当教員が、専門とする看護実践領域の実習を担当できるようにしています。教員の研究成果を実習中に紹介することがあります。				

開設科目名	母性看護学概論	科目コード	BSNBA209	開設期	2年 前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	桃井雅子	担当者	桃井雅子、川上桂子		

授業の概要 (授業の目的)

いのちを育む母性と女性への看護について、母子のいのちを尊重するケアについて学修する。
 リプロダクティブ・ヘルスに関する基本的な概念と、母性看護の基本となる考え方について学ぶ。また、ウイメンズヘルスの視点から女性のライフサイクル各期における健康問題とその看護、さらに母性あるいは女性を取り巻く社会の状況と、そこで求められる看護及びチーム医療のあり方について学ぶ。

学修の到達目標

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

- 1) 母性看護・周産期看護の視点から、母子のいのちと人格の尊厳を尊重することを考察できる。
- 2) 母性看護・周産期看護の基盤となる理念を理解し、看護者の使命と役割・責務を考察できる。
- 3) 母性看護・周産期看護において適用される基本概念・理論を理解できる。
- 4) 母性看護・周産期看護における倫理的課題を理解し、看護者の使命と役割・責務を考察できる。
- 5) 女性のライフサイクル各期における健康課題と看護を理解し、各期の看護について考察できる。
- 6) 母子保健・母子福祉の現状を理解し、看護者の使命と役割・責務を考察できる。

医療の基礎/ロイ適応モデル

授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	母性看護・周産期看護におけるいのちと人格の尊厳の尊重 倫理的課題と看護者の使命、役割・責務	講義 <対面>	桃井	予習： ・関連する既習科目を復習しておく ・教科書 第5章 第1節 を読んでおく	4 時間
2	母性看護・周産期看護の基盤となる理念と看護者の役割	講義 <対面>	桃井	予習：教科書 第3章 第3節 を読んでおく 復習：学修した内容の振り返り・考察	4 時間
3	母性看護・周産期看護において適用される基本概念・理論 ① 「リプロダクティブ・ヘルス&ライツ」「ヘルスプロモーション」他	講義 <対面>	川上	予習：教科書 第1章 第1節、第3章 を 読んでおく	8 時間
4	母性看護・周産期看護において適用される基本概念・理論 ② 「愛着」、「役割移行」「親役割」他	講義 <対面>	桃井	復習：学修した内容の振り返り・考察	
5	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護 ① 総論、思春期	講義 <対面>	桃井	予習：教科書 第2章を読み、関心のある テーマについて事前に文献検索などの	4 時間
6	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護 ② 成熟期・更年期 (一部、老年期を含む)	講義 <対面>	桃井	個人学修を行い、授業に臨む。	4 時間
7	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護 ③ 生殖器疾患を有する女性の看護	講義 <対面>	桃井	復習：学修した内容の振り返り・考察	4 時間
8	母子保健・母子福祉の現状と看護者の役割 現状の理解、看護者の役割・責務の理解と考察 本科目のまとめ	講義 <対面>	桃井	予習：教科書 第4章を読み、関心のある テーマについて事前に文献検索などの 個人学修を行い、授業に臨む 復習：学修した内容の振り返り・考察	4 時間

成績評価方法・基準 ・授業外レポート100% (桃井、川上)

課題に対するフィードバック ・課題のフィードバックは講義中と、本科目終了後 (総評) に学内限定の電子メール配信システムを活用して実施します。

教科書 有森直子編著 (最新版) : 母性看護学 I 概論 第2版, 医歯薬出版, 東京.

参考書・参考文献 * 各授業内容に応じて、参考書・参考文献をご紹介します。

オフィスアワー
学習相談
メッセージ
その他

* オフィスアワー：水曜日 16:30~18:00
 * 学習相談：随時受け付けます。
 * メッセージ：
 本科目を通して、母性看護・周産期看護の看護ケア者として、母子のいのちと人格の尊厳を尊重すること、また、いのちのはじまり (誕生) を護り支えるために、私たち看護者には何が期待されているかについて、深く考える時を持ってください。
 * その他：
 この科目は看護職の実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。女性の意思決定支援に関する授業 (主に第 1・2 回、第 5~7 回) においては、「若年女性の妊孕性に関する意思決定支援に向けた看護基礎教育プログラムの開発」の研究成果を、一部、参照して授業を展開します。

開設科目名	母性看護学ケア論 I	科目コード	BSNBA210	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	桃井雅子	担当者	桃井雅子、川上桂子、井口亜由		
授業の概要(授業の目的)					
母性看護学概論で学んだ母性看護の基本的となる概念とケアのあり方、専門職者としての責務と役割を踏まえて、妊娠期・分娩期・産褥期、胎児期・新生児期の正常な経過にある母子と家族の身体的、心理・社会的、精神的な特徴と、適応を促進するための看護を学修する。また、正常からの逸脱を予防する看護、逸脱の早期発見と対処のための看護について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 母性看護ならびに周産期看護において、1) 対象者のいのちとセルフケア力を尊重生かして健康を保持・増進するための看護、2) 正常からの逸脱を予防するための看護、3) 根拠に基づく看護、4) 対象者の意思決定を支える看護、以上について理解と考察を深める。			医療の基礎/ロイ適応モデル		
2. 正常な妊娠期・分娩期・産褥期および胎児期・新生児期にある母子と家族の身体的、心理・社会的、精神的な特徴・変化と、適応を促進する看護について理解する。また正常な経過からの逸脱予防と早期発見のための看護を理解する。					
3. 母児と家族を取り巻く社会状況とその変化に応じた母性看護・周産期看護のあり方と、母性看護・周産期看護における専門職者としての使命、責務・役割について、考察する。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	科目ガイダンス、周産期における看護について 妊娠期① 妊娠の成立・維持、胎児の成長・発達	講義 (面接)	桃井	「母性看護学概論」で学修した周産期看護の理念、概念等を振り返り、各回の授業に臨む 予習：教科書の該当箇所(事前周知)確認 復習：各回で学んだ看護を深めるための方法(リソース)を活用して探索を試み、看護について考察を深める	1時間
2	妊娠期② 妊娠期の身体的特徴・変化、適応を促す看護	講義 (面接)	桃井		1時間
3	妊娠期③ 妊娠期の身体的特徴・変化、適応を促す看護	講義・演習 (面接)	桃井		1時間
4	妊娠期④ 妊娠期の心理・社会的、精神的特徴・変化と適応を促す看護	講義・演習 (面接)	桃井		1時間
5	分娩期① 分娩の定義・要素・経過と機序	講義 (面接)	川上	予習：教科書の該当箇所(事前周知)確認 各回の授業で提示された事前課題に各自で取り組む 復習：授業内容の振り返りと考察	1時間
6	分娩期② 分娩期の身体的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	川上		1時間
7	分娩期③ 分娩期の身体的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	川上		1時間
8	分娩期④ 分娩期の心理・社会的、精神的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	川上		1時間
9	産褥期① 産褥期の身体的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	桃井	予習：教科書の該当箇所(事前周知)確認 復習：各回で学んだ看護を深めるための方法(リソース)を活用して探索を試み、看護について考察を深める	1時間
10	産褥期② 産褥期の身体的特徴・変化と適応を促す看護	講義・演習 (面接)	桃井		1時間
11	産褥期③ 産褥期の身体的特徴・変化と適応を促す看護	講義・演習 (面接)	桃井		1時間
12	産褥期④ 産褥期の心理・社会的、精神的特徴・変化と適応を促す看護	講義・演習 (面接)	桃井		1時間
13	胎児期・新生児期① 胎児期・出生直後の新生児の身体的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	井口	予習：教科書の該当箇所(事前周知)確認と事前学修 Forms への回答 復習：授業内容の振り返りと考察ならびに Forms への回答	1時間
14	胎児期・新生児期② 早期新生児期の身体的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	井口		1時間
15	胎児期・新生児期③ 新生児期全体の身体的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	井口		1時間

成績評価方法・基準	筆記試験 100% (評価者：科目担当者、配点：妊娠期 25%、分娩期 25%、産褥期 30%、新生児期 20%)
課題に対するフィードバック	・フィードバックは、評価結果に応じて個別に実施、または Web 上で全員に対して実施します。
教科書	* 下記の参考書・参考文献も含めて、自らの学修に有用・適切なテキストを選んでください。また、当授業では、既にお手元にある他科目のテキストを使用します。授業当日は、事前にお知らせした指定のテキストを持参してください。
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・森恵美他（最新版）：系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論，医学書院，東京。 ・有森直子編（最新版）：母性看護学Ⅱ 周産期各論 第2版，医歯薬出版，東京。 ・森臨太郎他（最新版）：ほんとうに確かなことから考える妊娠・出産の話，医学書院，東京。 ・仁志田博司：新生児学入門 第4版，医学書院，東京。 ・医学情報科学研究所編（最新版）：病気が見える 産科 第4版，メディックメディア，東京。 <p>* 上記以外の、図書館に所蔵されている、各出版社の「母性看護学」と「助産学」の教科書を、参考書として活用してください。</p> <p>* 他、各授業内容に応じて参考書・参考文献をご紹介します。</p>
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>* オフィスアワー：水曜日 16:30～18:00（桃井雅子）</p> <p>* 学習相談：随時受け付けます。</p> <p>* メッセージ：周産期の母子と家族の持てる力と、本来の持てる力をいかす看護とはどのようなものか、深く考える時を持ってください。 また、自らの力を活かして、新たなことを学び・知り得ることの楽しさを、本科目を通して体験していただけることを願います。</p> <p>* その他：この科目は看護職の実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。女性のセルフケアに関する支援及び意思決定に関する支援についての授業では「若年女性の妊孕性に関する意思決定支援に向けた看護基礎教育プログラムの開発」の研究成果を、一部、参照して授業を展開します。</p>

開設科目名	小児看護学概論	科目コード	BSNBA211	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	大城知恵	担当者	大城知恵、半田浩美		
授業の概要(授業の目的)					
子どもの身体、生理的特徴、精神、運動、社会的発達を理解し、健やかな健康と子どもに必要な環境について学修する。また、小児看護に関連する諸理論や家族間の相互作用と子育て支援について学修し、子どもの権利を踏まえた小児看護の専門職者としての役割を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 子どもの人格の尊厳と子どもの権利を踏まえた、小児看護の専門職者としての役割を理解できる。			医療の基礎 ロイ適応看護モデル		
2) 小児看護学における主要概念と諸理論を理解できる。					
3) 子どもを取り巻く環境(人的環境、社会的環境を含む)と、環境との相互作用を理解できる。					
4) 子どもの成長発達について、各期の特徴とその評価(目的と方法)を理解できる。					
5) 子どもと家族を取り巻く環境を理解し、子どもと家族の健やかな成長発達に向けての支援を考察・探求することができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※遠隔授業の方法: Zoom もしくは Teams による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	小児看護学とは ① 「子どもの権利」を踏まえた看護者の使命・役割	講義 <遠隔>	半田	予習: 1.教科書 1章1,3を読んでおく 復習: 授業内容の復習	4時間
2	小児看護学とは ② 小児看護の歴史、倫理、法律・施策	講義 <遠隔>	半田	予習: 1.教科書 1章2,4を読んでおく 復習: 授業内容の復習	4時間
3	小児看護学における主要な理論・概念	講義 <遠隔>	半田	予習: 1.教科書 1章5を読んでおく 復習: 授業内容の復習	4時間
4	子どもを取り巻く環境 子どもと親・家族、社会との相互作用	講義 <遠隔>	半田	予習: 1.教科書 1章5を再度読んでおく 復習: 授業内容の復習	4時間
5	子どもの成長発達① 乳児期～幼児前期	講義 <面接>	大城	1.教科書 2章1,2を予習 復習: 授業内容の復習	4時間
6	子どもの成長発達② 幼児前期～幼児後期	講義 <面接>	大城	1.教科書 2章3を予習 復習: 授業内容の復習	4時間
7	子どもの成長発達③ 学童期・思春期	講義 <面接>	大城	1.教科書 2章4,5を予習 復習: 授業内容の復習	4時間
8	子どもの成長発達とその評価	講義 <面接>	大城	予習: 子どもの成長発達の復習 1.教科書 2章6 復習: 授業内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 70% (半田・大城) レポート課題 30% (大城)				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、コメントをつけて返却する。				
教科書	1.中野綾美編集『ナースング・グラフィック小児看護学 ①小児の発達と看護 第7版』メディカ出版、2023				
参考書・参考文献	片田範子 編 『こどもセルフケア看護理論』医学書院 2019 シスター・カリスト・ロイ著: ザ・ロイ適応看護モデル 第2版、医学書院 2014 厚生労働統計協会 厚生の指標増刊 国民衛生の動向 2022/2023 2022年8月発行 恩賜財団母子愛育会 愛育研究所編『日本子ども資料年鑑 2023』KTC中央出版 2023 筒井真優美 編『小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア 第8版』日総研 2017				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	大城知恵(非常勤) 半田浩美(非常勤) 質問がある場合は、講義終了後に質問をうつけます。 事前に教科書は読んでおくこと。講義中に配布した資料は次回までに再度、復習すること。 質問事項に対しては講義終了後に質問を受け付けます。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	小児看護学ケア論 I	科目コード	BSNNCP212	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	山口 智治	担当者	山口智治、原知子、朝川貴博、秋田幸大、横地賢興、大西哲郎、坂田友		
授業の概要(授業の目的)					
小児看護学概論の学修を踏まえ、健康障害をもつ子どもの特徴と影響を学び、子どもの適応を促進するための基本的な看護の知識と態度を獲得する。また、子どもを支えるための家族支援や地域活動について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 健康障害をもつ子どもと家族の特徴と影響を理解できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2) 健康障害をもつ子どもと家族への基本的な姿勢・コミュニケーションについて理解できる。					
3) 子どもの発達段階やセルフケア能力・病期に応じた支援方法について理解できる。					
4) 子どもに必要な看護場面を想定し、個人と個人を取り巻く環境との相互作用を説明できる。					
5) 子どもの生理的様式について、行動のアセスメント・刺激のアセスメントを説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) * 遠隔授業の方法: Teams、一部 Zoom を使用した同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	健康障害をもつ子どもと家族の適応を促進するケア ① 生理的様式からみた子どもの特徴①	講義(面接)	山口	1.教科書 2章、3章 1、2を予習	1時間
2	健康障害をもつ子どもと家族の適応を促進するケア ② 生理的様式からみた子どもの特徴②	講義(面接)	朝川	1.教科書 2章、3章 1、2を予習	1時間
3	健康障害をもつ子どもと家族の適応を促進するケア ③ 生理的様式からみた子どもの特徴③	講義(面接)	原	1.教科書 2章、3章 1、2を予習	1時間
4	健康障害をもつ子どもと家族の適応を促進するケア ④ 呼吸器疾患、川崎病	講義(面接)	秋田	3.教科書 第7章および第8章川崎病の子どもの看護を予習 1.教科書 3-10 被虐待児と家族への看護を予習	1時間
5	健康障害をもつ子どもと家族の適応を促進するケア ⑤ 感染症、予防接種	講義(面接)	横地	1.教科書 p114-115 感染 3.教科書 第6章感染症と看護	1時間
6	健康障害をもつ子どもと家族の適応を促進するケア ⑥ 自己概念様式からみた子どもの特徴	講義(面接)	原	1.教科書 1章 5、2章、3章 1を予習 1.教科書 p113のAR 視聴	1時間
7	健康障害をもつ子どもと家族の適応を促進するケア ⑦ 役割機能様式からみた子どもの特徴	講義(面接)	山口	1.教科書 1章 5、2章、3章 1を予習	1時間
8	健康障害をもつ子どもと家族の適応を促進するケア ⑧ 相互依存様式からみた子どもの特徴	講義(面接)	山口	1.教科書 1章 5、2章、3章 1を予習 1.教科書 p206のAR 視聴	1時間
9	突然症状を発症し入院するケース① 救急時における子どもと家族への看護	講義(面接)	大西	1.教科書 3章 2を予習 2.教科書 8章を予習	1時間
10	突然症状を発症し入院するケース② 生理的様式からみた子どもの特徴	講義(面接)	山口	1.教科書 2章、3章 1、2を予習	1時間
11	突然症状を発症し入院するケース③ 自己概念様式からみた子どもの特徴	講義(面接)	原	1.教科書 1章 5、2章、3章 1を予習 1.教科書 p113のAR 視聴	1時間
12	突然症状を発症し入院するケース④ 役割機能様式からみた子どもの特徴	講義(面接)	山口	1.教科書 1章 5、2章、3章 1を予習 1.教科書 p206のAR 視聴	1時間
13	突然症状を発症し入院するケース⑤ 相互依存様式からみた子どもの特徴	講義(面接)	山口	1.教科書 1章 5、2章、3章 1を予習 1.教科書 p206のAR 視聴	1時間
14	フリップレーションによる適応行動の支援	講義(面接)	坂田	1.教科書 3章 1、5を予習	1時間
15	突然症状を発症し入院するケース まとめ	実技(面接)	山口 他	講義資料の復習	1時間

成績評価方法・基準	定期試験 100% 評価者：担当者全員
課題に対するフィードバック	課題レポートはコメントをつけて返却する。小テストは模範解答の解説を授業内で行う。
教科書	1.中野綾美編集：ナーシング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護 第7版、メディカ出版、2023. 2.中野綾美編集：ナーシング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術 第5版、メディカ出版、2023. 3.奈良間美保他：系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学2 医学書院 2023.
参考書・参考文献	浅野みどり 他編集：発達段階からみた小児看護過程+病態関連図 医学書院 医学書院 2017.
ワイアワ- 学習相談 メッセージ その他	ワイアワ- 山口：火 12：10～13：10 (L216 研究室) 原：水 12：10～13：10 (L632 研究室) 学習相談は適宜受け付けます。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 評価については、科目の評価終了後に一定期間を設けて質問や疑問に対応します。

開設科目名	がん看護学	科目コード	BSNBA213	開設期	2年 後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (選択)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	崎田 マユミ	担当者	崎田マユミ、小浜さつき、石本祥子、尾形由貴子		
授業の概要 (授業の目的)					
本科目では、人々を取り巻く環境の変化や高齢化により急増するがん患者の看護について学ぶ。具体的には、がん患者の理解に必要な医学的基礎的知識、ならびに検査や治療を理解し、療養過程における心理、意思決定、セルフケアを支える患者と家族への看護支援について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) がんおよびがん医療について理解を深める			医療の基礎		
2) がんの治療の特殊性を理解し、各治療にともなう看護支援について理解を深める			ROI適応看護モデル		
3) がんの療養過程における患者とその家族を理解し、継続的な看護支援について理解を深める					
4) がん性疼痛および疼痛緩和の具体的支援について理解を深める					
5) がん患者の療養の場における看護支援について理解を深める					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス 今日のがん医療と看護の発展、課題	講義<面接>	崎田	教科書①p2-72を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
2	がんの検査・治療の特殊性と看護の理解：化学療法 および放射線療法を受ける患者の看護	講義<面接>	尾形	教科書①p122-195を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
3	がんの療養過程における患者と家族への看護： 診断期・治療期・エンド・オブ・ライフ期の看護① 心理・意思決定	講義<面接>	崎田	教科書①74-119を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
4	がんの療養過程における患者と家族への看護： 診断期・治療期・エンド・オブ・ライフ期の看護② セルフケア・症状マネジメント	講義<面接>	崎田	教科書①74-119を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
5	がん患者の療養の場における看護 外来、在宅、ホスピス病棟における看護	講義<面接>	GS	教科書①p198-256を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
6	がん患者と家族への看護のケーススタディ①	講義・討議<面接>	石本	資料を配布。事後は内容の復習。	4時間
7	がん患者と家族への看護のケーススタディ②	講義・討議<面接>	小浜	資料を配布。事後は内容の復習。	4時間
8	がん患者と家族への看護のケーススタディ③	講義・討議<面接>	崎田	資料を配布。事後は内容の復習。	4時間
成績評価方法・基準	講義後のレポート 80%(崎田) 講義後のレポート 20% (小浜、石本)				
課題に対するフィードバック	レポートは後日コメントとともに返却します。 各授業計画を確認し、事後の復習により、がん看護について思考し、レポートにまとめ理解を深めましょう。				
教科書	鈴木久美 他 (2021) がん看護 様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える.南江堂.				
参考書・参考文献					
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワー：崎田マユミ (7号館3階 733号室) ; 火曜 16:30~17:30 ※上記時間以外は事前に予約をしてください。メールアドレス : sakita@stmaryacjp.onmicrospft.com ・その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 				

開設科目名	リハビリテーション看護学	科目コード	BSNBA214	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、小浜さつき、佐藤友紀、飛永浩一朗		
授業の概要(授業の目的)					
<p>リハビリテーションとは、障がいのある人が“地域で地域の人々の支援を受けながら誇りを持って生活できること”を目指す活動といえる。リハビリテーション看護の目標は、多職種と協働し障がいのある人のセルフケアの再構築を促進することである。本講義では、主に、脳卒中の後遺症である運動機能障害、高次脳機能障害、嚥下障害、排泄障害を呈した患者に対する、専門的な評価や介入について学ぶ。また、障がいのある人の環境への適応を促す看護について学ぶ。</p>					
学修の到達目標		ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連			
1. リハビリテーションの意味、リハビリテーション看護の目標と看護師の役割を説明できる。		医療の基礎/ロイ適応看護モデル			
2. 運動機能障害の評価と介入方法を説明できる。					
3. 高次脳機能障害の評価と介入方法を説明できる。					
4. 嚥下機能障害の評価と介入方法を説明できる。					
5. 障がいのある人の環境への適応を促す看護について述べるができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	リハビリテーションの概念—定義と目的 定義に影響を与えたノーマライゼーションの思想とIL 運動	講義(対面)	日高	講義前に配布した資料を予習し講義に臨み、講義後は復習に取り組む。	4時間
2	リハビリテーション看護の視点—リハビリテーション看護の目標と看護師の役割	講義(対面)	日高	講義前に配布した資料を予習し講義に臨み、講義後は復習に取り組む。	4時間
3	運動機能障害のアセスメントと介入①	講義(対面)	飛永 小浜	・運動機能障害のアセスメントと介入について、理学療法士による講義を行います。 ・嚥下関連筋を支配する神経を復習し講義に臨むこと。講義内容を復習すること。	4時間
4	運動機能障害のアセスメントと介入② 嚥下機能障害のアセスメントと介入①				4時間
5	高次脳機能障害のアセスメントと介入①	講義(対面)	日高	教科書①5章2節を事前に読んで予習すること。 講義内容を復習すること。	4時間
6	高次脳機能障害のアセスメントと介入②	講義(対面)	日高	教科書①5章2節を事前に読んで予習すること。 講義内容を復習すること。	4時間
7	排泄機能障害—ポケットエコーを用いたアセスメントと介入	講義(対面)	佐藤(CNS)	専門看護師によるポケットエコーを用いたアセスメントについて学修します。講義中に配布した資料を復習すること。	4時間
8	ロイ適応看護モデルに基づくリハビリテーション看護 ・変化した環境への適応とコーピング ・ケアリング行為と適応	講義(対面)	日高	ロイ適応看護モデルについて復習して講義に臨むこと。講義中に配布した資料を復習すること。	4時間
成績評価方法・基準		筆記試験 100% (評価者: 科目責任者)			
課題に対するフィードバック		講義内で提出されたレポートやリアクションペーパーは、後日返却します。			
教科書		① 鈴木純恵他編集, 成人看護学 健康危機状況/セルフケアの再獲得、ナーシング・グラフィカ、メディカ出版			
参考書・参考文献		<ul style="list-style-type: none"> ・奥宮暎子監訳: リハビリテーション看護の実践、日本看護協会出版会、八代英太編: ADAの衝撃、学苑社、1996. ・石合純夫: 高次脳機能障害学、医歯薬出版株式会社、2004. ・上田敏: リハビリテーションを考える、青木出版、2000. ・ノーマライゼーション—社会福祉サービスの本質、ウォルフエンズベルガー著、学苑社、1982. ・井林雪郎編集、脳卒中リハビリテーションとチーム医療・メディカルレビュー社、2012. ・金田嘉清・大塚圭編集: リハビリテーション、放送大学教育振興会、東京都、2019. 			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		<p>日高艶子(7号館3階、731研究室) オフィスアワー: 金曜日 16:00-17:00 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 本科目は、日高の「高次脳機能障害者のセルフケア再獲得を促す看護介入モデルの構築」の研究成果をもとに講義を行います。</p>			

開設科目名	精神看護学概論	科目コード	BSNGC201	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	谷多江子	担当者	谷多江子、眞崎直子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>本科目では、ライフサイクルとこころの健康について学修し、次いで精神障がい者と家族を理解するために時代や地域に様々な影響を受けてきた精神医療と看護の歴史について学ぶ。さらに、精神障がい者と家族が地域の中でコミュニティに所属し、地域の人々と協働・連帯できる地域文化を創造するための視点を学ぶ。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) ライフサイクル各期における心の危機的状況と心のケアについて理解できる。			<p>地域の人との連帯・協働 ケア環境の構築</p>		
2) ストレス対処、適応および心の健康の概念を理解できる。					
3) 精神医療の変遷と現状を知り、精神障がい者が生きる環境について考えることができる。					
4) 精神障がい者が地域で生活するために必要な考え方を理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ライフサイクルにおけるメンタルヘルス (1)周産期～学童期の精神の健康	講義(面接)	谷	テキスト第三章 3-2、3-3を読んでおく。	4時間
2	(2)思春期・青年期の精神の健康	講義(面接)	谷	テキスト第三章 3-4を読んでおく。	4時間
3	(3)成人期の精神の健康① 燃え尽き症候群、他	講義(面接)	谷	配布資料の復習をする。	4時間
4	(4)成人期の精神の健康② ハラスメント、他	講義(面接)	谷	配布資料の復習をする。	4時間
5	(5)成人期の精神の健康③ 家庭における精神の健康、 看護師のストレス	講義(面接)	谷	テキスト第三章 3-5、第四章 1-10を読んでおく。	4時間
6	心のはたらき 自我の防衛機制	講義・ワーク(面接)	谷	テキスト第三章 1を読んでおく。	4時間
7	精神医療の変遷	講義(面接)	眞崎	テキスト第I章 6を読んでおく。	4時間
8	精神障がい者が地域で生活するための取り組み	講義(面接)	谷	配布資料の復習をする。	2時間
成績評価方法・基準	授業内および授業後の課題 100% (谷)				
課題に対するフィードバック	講義中にフィードバックします。				
教科書	・精神看護学 I こころの健康と地域包括ケア 南江堂 2022				
参考書・参考文献	特に指定しない				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>谷多江子(6号館622研究室) オフィスアワー:月曜日16:30~17:30 *ICTの活用: WebClassで行う授業は、講義日程以後一定期間繰り返し視聴し復習することができます。 その他:この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です</p>				

開設科目名	精神看護学ケア論 I	科目コード	BSNGC202	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	谷 多江子	担当者	谷 多江子、倉成 由美、他		
授業の概要(授業の目的)					
本科目では、当事者の生きる世界を学び、当事者の持つ自己概念や、精神科における治療・看護が心(精神)にもたらす影響、必要な支援について考察する。また、当事者と治療的な関係を構築するために、自己理解を深める方法を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 精神障がいを持つ患者の体験について理解を深めることができる。 2) 代表的な精神疾患と必要な看護について理解できる。 3) 代表的な精神機能検査および精神療法について説明できる。 4) 精神医療に関する法律、人権擁護について説明できる。 5) 治療的なコミュニケーション技術を身につけ利用することができる。			地域のひととの連帯・協働 ケア環境の構築		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	精神機能検査の理解と体験	講義・体験(面接)	谷	テキストⅡ第Ⅶ章1を読んでおく。	1時間
2	精神障がい者の世界① 体験の理解	DVD視聴(面接)	谷、倉成	事前に統合失調症について調べておく。	1時間
3	精神障がい者の世界② まとめ	DVD視聴(面接)	谷、倉成	※課題は講義中に提示します	1時間
4	症状と看護① 統合失調症の症状と経過	講義(面接)	倉成	テキストⅡ第Ⅵ章3-3-2-A-1を読んでおく。	1時間
5	症状と看護② 統合失調症の治療と看護	講義(面接)	倉成	授業内容を復習する。	1時間
6	精神障がい者の世界③ 体験のイメージ	ワーク(面接)	谷	※課題は講義中に提示します	1時間
7	症状と看護③ 統合失調症の事例のアセスメント	講義(面接)	倉成	授業内容を復習する。	1時間
8	症状と看護④ 統合失調症の事例の看護	講義(面接)	倉成	授業内容を復習する。	1時間
9	精神療法の理解と体験	講義・体験(面接)	谷	テキストⅡ第Ⅷ章2-A,2-Cを読んでおく。	1時間
10	治療的関係、治療的コミュニケーション	講義(面接)	谷	テキストⅡ第Ⅷ章3-C-3を読んでおく。	1時間
11	傾聴の体験、プロセスレコード	講義・体験(面接)	谷	テキストⅡ第Ⅷ章3-Dを読んでおく。	1時間
12	精神医療に関する法律、制度、人権擁護	講義(面接)	倉成	テキストⅠ第Ⅱ章1-1~1-3を読んでおく。	1時間
13	社会復帰に向けた支援	講義(面接)	倉成	テキストⅡ第Ⅷ章4-1-E,4-2-B,4-2-C,4-4-A,を読んでおく。	1時間
14	精神看護における看護理論、心の健康の維持	講義・体験(面接)	谷、倉成	テキストⅡ第Ⅵ章5-B,第Ⅷ章3-Cを読んでおく。	1時間
15	地域で生活する精神障がい者の理解	講義(面接)	谷、他	精神障がい者の生活の現状をまとめる。	1時間
成績評価方法・基準	クラス参加度(演習の態度) 40%(谷、倉成) 各回の課題 60%(谷、倉成)				
課題に対するフィードバック	講義中にフィードバックします。				
教科書	・精神看護学Ⅰ 心の健康と地域包括ケア 南江堂 2022 ・精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア 南江堂 2022				
参考書・参考文献	特に指定しない				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	谷 多江子(6号館622研究室) オフィスアワー:月曜日16:30~17:30 その他:この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 第6回については、「精神看護学の授業方法」に関する研究成果を一部参照して講義を展開します。				

開設科目名	地域・在宅看護学概論	科目コード	BSNGC203	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	橋口ちどり	担当者	橋口ちどり、眞崎直子		
授業の概要(授業の目的)					
本科目は、家族や組織・コミュニティ・グローバル社会を含む集団に対する看護について学ぶための基礎となる科目である。地域の構造と機能について理解し、集団としての地域の人々、また地域で生活する在宅療養者と家族の尊厳を尊重し、統合に向けて適応を維持・促進するための看護について学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
①集団の健康を維持促進するために、地域の構造と機能について理解する。				◎地域の人々との連帯・協働 ロイ適応看護モデル	
②在宅看護の歴史を説明できる。					
③ロイ適応看護モデルを基盤とした在宅療養者と家族の看護について理解できる。					
④臨床と在宅における看護実践の特徴を述べることができる。					
⑤在宅療養生活を支える社会保障制度を含めた地域包括ケアシステムを理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	集団の健康を維持促進するための地域の構造と機能①	講義「対面」	眞崎	講義内容を復習すること	4時間
2	集団の健康を維持促進するための地域の構造と機能②	講義「対面」	眞崎	教科書 P10～24 を読んでおく	4時間
3	在宅看護の歴史と変遷 今日的課題	講義「対面」	橋口	教科書②5章から7章を予習しておく	4時間
4	ロイ適応看護モデルに基づく在宅看護過程	講義「対面」	橋口	ロイ適応看護モデルについて予習しておく	4時間
5	ロイ適応看護モデルに基づく集団の物理的様式 (家族の定義・構成員・地域)	講義「対面」	橋口	ロイ適応看護モデルに基づく集団の物理的様式について予習しておく	4時間
6	ロイ適応看護モデルに基づく集団の物理的様式 (経済的背景・療養環境)	講義「対面」	橋口	ロイ適応看護モデルに基づく集団の物理的様式について予習しておく	4時間
7	ロイ適応看護モデルに基づく集団のアイデンティティ様式 (アイデンティティの共有・家族の結合)	講義「対面」	橋口	ロイ適応看護モデルに基づく集団のアイデンティティ様式について予習しておく	4時間
8	ロイ適応看護モデルに基づく集団のアイデンティティ様式 (事例を用いた学修)	講義「対面」	橋口	ロイ適応看護モデルに基づく集団のアイデンティティ様式について予習しておく	4時間
9	ロイ適応看護モデルに基づく集団の役割機能様式 (家族介護者の役割緊張)	講義「対面」	橋口	ロイ適応看護モデルに基づく集団の役割機能様式について予習しておく	4時間
10	ロイ適応看護モデルに基づく集団の役割機能様式 (家族介護者の課題)	講義「対面」	橋口	ロイ適応看護モデルに基づく集団の役割機能様式について予習しておく	4時間
11	ロイ適応看護モデルに基づく集団の相互依存様式 (社会資源)	講義「対面」	橋口	ロイ適応看護モデルに基づく集団の相互依存様式について予習しておく	4時間
12	ロイ適応看護モデルに基づく集団の相互依存様式 (多職種連携)	講義「対面」	橋口	ロイ適応看護モデルに基づく集団の相互依存様式について予習しておく	4時間
13	臨床と在宅における看護実践の違い	講義「対面」	橋口	講義内容を復習すること	4時間
14	地域包括ケアシステム①	講義「対面」	眞崎	講義を復習し、レポート課題と照らして考察する	4時間
15	地域包括ケアシステム②	講義「対面」	眞崎	講義を復習し、レポート課題と照らして考察する	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 80% (評価者: 科目責任者) 課題レポート 20% (評価者: 科目責任者)				
課題に対するフィードバック	レポートはコメントを加え返却します。				
教科書	① 河原加代子他: 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院 2022 ② 河原加代子他: 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院 2022 ③ ロイ適応看護モデル 第2版 医学書院 ④ NANDA I 看護診断定義と分類 2021-2023 ⑤ 厚生統計協会: 国民衛生の動向 2022/2023				
参考書・参考文献					
オフィス 学習相談 メッセージ その他	橋口ちどり オフィスアワー (火) 12:10～13:10 7号館744室(内線744) 講義の質問や意見は随時受け付けますが事前にメールでお知らせください。 hashiguchi@stmaryacjp.onmicrosoft.com その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 この科目は、看護師課程・保健師課程の両方の教育内容を含みます				

開設科目名	地域・在宅看護学ケア論	科目コード	BSNGC204	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	本田歩美	担当者	本田歩美、橋口ちどり、渋江暁春		
授業の概要(授業の目的)					
地域・在宅看護学概論で学修した在宅療養者と家族の特徴を踏まえ、ケーススタディを用いて生活環境の視点から医療および生活ニーズのアセスメント、介入計画立案について学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 対象者の病態と障害、生活環境の視点から生活ニーズを考えることができる				◎ 地域の人々との連帯・協働 ロイ適応看護モデル	
2. ロイ適応看護モデルを用いて対象者の行動と刺激のアセスメントができる					
3. 在宅療養を支える家族、コミュニティおよび在宅ケアに関わる他職種について理解することができる					
4. 対象者とその家族を対象とした看護診断を抽出できる					
5. 看護診断に沿って対象者とその家族に必要なケアについて看護目標の設定、介入計画を立案できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	在宅療養者と家族を対象としたロイ適応看護モデルを用いた看護過程の展開	講義 <対面>	本田	地域・在宅看護学概論を復習しておく	4時間
2	事例1: 1人暮らしの虚弱高齢者	討議 <対面>	本田・橋口・渋江	提示された事例について看護過程の展開に取り組む	4時間
3	慢性閉塞性肺疾患をもつ高齢者への看護	講義 <対面>	本田	配布資料の復習	4時間
4	事例2: COPDをもつ1人暮らしの高齢者	討議 <対面>	本田・橋口・渋江	提示された事例について看護過程の展開に取り組む	4時間
5	地域で暮らす高齢者への服薬支援	講義 <対面>	本田	配布資料の復習	4時間
6	事例3: 服薬管理が必要な1人暮らしの認知症高齢者	討議 <対面>	本田・橋口・渋江	提示された事例について看護過程の展開に取り組む	4時間
7	脊髄損傷のある在宅療養者への看護	講義 <対面>	本田	配布資料の復習	4時間
8	事例4: 脊髄損傷のある高齢者とその家族	討議 <対面>	本田・橋口・渋江	提示された事例について看護過程の展開に取り組む	4時間
9	ストーマを造設している在宅療養者への看護	講義 <対面>	本田	配布資料の復習	4時間
10	事例5: ストーマを造設している高齢者	討議 <対面>	本田・橋口・渋江	提示された事例について看護過程の展開に取り組む	4時間
11	在宅療養に伴う経済的課題と社会保障制度	講義 <対面>	本田	配布資料の復習	4時間
12	事例6: 経済的問題を抱える事例	討議 <対面>	本田・橋口・渋江	提示された事例について看護過程の展開に取り組む	4時間
13	在宅で終末期を迎える療養者とその家族	講義 <対面>	本田・橋口	配布資料の復習	4時間
14	事例7: 在宅で終末期を迎える療養者とその家族の事例	討議 <対面>	本田・橋口・渋江	提示された事例について看護過程の展開に取り組む	4時間
15	事例展開のディスカッション / まとめ	学生発表・ 講義 <対面>	本田・橋口・渋江	ディスカッションに参加できるよう予習復習に取り組む	4時間
成績評価方法・基準	レポートの提出(60%) 評価: 科目責任者、担当教員 授業態度・演習への参加(20%) 評価: 科目責任者、担当教員 発表およびディスカッションへの参加(20%) 評価: 科目責任者、担当教員				
課題に対するフィードバック	ケーススタディ終了後にふりかえりを行う				
教科書	・秋山正子他; 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 第5版 医学書院 2019 ・ロイ適応看護モデル 第2版 医学書院 NANDA I 看護診断と分類 2021-2023				
参考書・参考文献					
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	本田歩美 オフィスアワー(火) 12:10~13:10 △号館△△△室(内線△△△) 学修に関する相談は随時受けますが事前にメールで連絡をしてください。 a-honda@stmaryacjp.onmicrosoft.com その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です この科目は、看護師課程・保健師課程の両方の教育内容を含みます				

開設科目名	公衆衛生看護学概論	科目コード	BSNGC205	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子		
授業の概要(授業の目的)					
地域で生活する人々の健康を支援する看護活動として、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を学ぶ。また、地域の人々の健康を、ヘルスプロモーションを基軸に社会環境の変化、国際的活動と、包括的に捉える。さらに地域看護活動の場である、行政・施設、職域、学校、在宅看護との継続性、連動性を重視した地域看護活動の展開を学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 公衆衛生看護の定義及び理念について説明できる。				地域の人々との連携・協働/ケア環境の構築	
2. 公衆衛生看護の対象及び活動の場について説明できる。					
3. 公衆衛生の歴史を学び、新たな地域看護活動や健康課題について述べる事ができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生看護の定義や位置づけ、予防の概念、健康の概念	講義<対面>	眞崎	第1章公衆衛生看護学の概念を読んでおくこと。講義終了時に指示する。	4時間
2	公衆衛生看護活動の意義 健康の概念	講義<対面>	眞崎	講義終了時に指示する。	4時間
3	公衆衛生看護の構成 ヘルスプロモーション	講義<対面>	眞崎	講義終了時に指示する。	4時間
4	公衆衛生看護の歴史①公衆衛生看護の創成期活動の始まりの頃を読んで	講義<対面>	眞崎	教科書：第1章公衆衛生看護の歴史を読んでおくこと。講義終了時に課題を提示する。	4時間
5	公衆衛生看護活動の実際 演習(地区踏査)地区活動の基本である地区踏査を行う。	FW<対面>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4時間
6	公衆衛生看護の実際 地区踏査結果発表	GW<対面>	眞崎 田中	各講義終了時に指示する。	4時間
7	公衆衛生看護の実際 地区踏査結果発表準備	GW<対面>	眞崎 田中	各講義終了時に指示する。	4時間
8	公衆衛生看護の実際 地区踏査結果発表	討議<対面>	眞崎 田中	各講義終了時に指示する。	4時間
9	公衆衛生看護の実際①行政	講義<対面>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4時間
10	公衆衛生看護の実際②(産業・学校)	講義<対面>	田中 眞崎	各講義終了時に指示する。	4時間
11	地域の人々の保健関連行動①(健康課題への個人の対処行動)	講義<対面>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4時間
12	地域の人々の保健関連行動②(健康課題への地域組織としての対処)ソーシャルキャピタル	講義<対面>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4時間
13	社会活動の変化と健康課題①(社会情勢の変遷)	講義<対面>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4時間
14	社会活動の変化と健康課題②(国際交流、国際協力)	講義<対面>	眞崎	公衆衛生看護の課題と展望に係わる文献や情報から2つ以上のキーワードを上げておく。	4時間
15	公衆衛生看護の課題と展望	講義<対面>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4時間
成績評価方法・基準	定期試験70%(眞崎)、演習課題地区踏査結果(個人ワーク、グループワークプレゼンテーション結果)30%(担当者全員)				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。				
教科書	・公衆衛生看護学 j P : インターメディカル、・国民衛生の動向 : 厚生統計協会・公衆衛生看護学演習・実習 : クオリティケア				
参考書・参考文献	・保健師業務要覧 : 日本看護協会出版会				
オフィス学習相談メッセージその他	眞崎直子(7号館2階722研究室) 火曜日12:10~13:10、その他在室時 公衆衛生看護学領域の基礎となる科目です。保健師や地域活動に関心をもって演習で地域を体験してください。 *ICTの活用:演習後はWebClassで理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他:この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 第12回について、「都市型準限界集落の地域づくりを目指した取り組み」に関する研究成果を一部参照して講義します。				

開設科目名	公衆衛生看護管理論 I	科目コード	BSNGC206	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義、演習
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子、田中貴子		
授業の概要(授業の目的)					
地域で生活する個人、家族および集団の特性をふまえて、地域看護活動の展開方法について教授する。特に地域の健康問題の把握や地域診断に基づく地域活動の展開過程の理論と方法を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 公衆衛生看護活動を行うために必要となる、地区診断の意義と目的を説明できる。			地域の人々との連携・協働/ケア環境の構築		
2. 公衆衛生看護活動から健康問題を抽出し、顕在的・潜在的なニーズを把握する方法を述べることができる。					
3. 地区踏査および地域の既存資料による情報収集と分析ができる。					
4. 地域の健康課題が、優先順位として抽出することができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生看護管理の特色 公衆衛生看護活動計画の意義と目的、地域診断の概念	講義 <対面>	眞崎 ゲスト スピーカー	教科書の地域診断を読んでおくこと。 各講義終了時に指示する。	4時間
2	地域診断に必要な理論 地域診断の過程、地域集団特性の把握、	講義 <対面>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4時間
3	地域診断の方法① 地域診断の資料の分析、統計指標作成演習	講義 <対面>	眞崎	各課題テーマに沿った自己学修・個人ワーク	4時間
4	地域診断の方法② 地域の健康課題を明らかにする方法、課題明確化の演習	講義 GW <対面>	眞崎 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
5	地域診断のプロセス 健康課題の分析・抽出、地域の健康課題を解決方法	講義 GW <対面>	眞崎 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
6	地域診断の実際① 対象地域における診断	討議 GW <対面>	眞崎 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
7	地区診断の実際② グループでの発表	討議 <対面>	眞崎 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
8	公衆衛生看護活動計画の総括 公衆衛生看護管理における今後の課題	講義 <対面>	眞崎 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
成績評価方法・基準	定期試験 70% (眞崎)、地区診断の個人課題・グループ発表 質疑応答 30% (全員)				
課題に対するフィードバック	地域診断の個人課題、グループ発表 フィードバック: 発表後に説明する。課題についてはコメントをつけて返却する。 定期試験(中間・期末試験) フィードバック: 出題意図を説明する。				
教科書	・公衆衛生看護学 j P: インターメディカル・国民衛生の動向: 厚生統計協会・公衆衛生看護学演習・実習: クオリティケア				
参考書・参考文献	・保健師業務要覧				
オフィスワー 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子 オフィスアワー: 火曜日 12:10~13:10、その他在室時 公衆衛生看護学領域の基礎となる科目です。保健師や地域活動に関心をもって演習で地域を体験してください。 * ICT の活用: 演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 第 8 回について、「都市型準限界集落の地域づくりを目指した取り組み」に関する研究成果を一部参照して講義します。				

開設科目名	English II (英語Ⅱ)	科目コード	BSNGC207	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN、Eric	担当者	FORTIN、Eric		
授業の概要(授業の目的)					
<p>The purpose of this course is to continue from English I with the most necessary English medical words and phrases that nurses might need in the hospital setting, either in communicating with foreign patients or hospital staff. It will also give students the opportunity to use the basic English that they have already studied in new hospital-related situations. Students will also learn about different ways people from other Asian countries pronounce English to help students communicate with students from St. Mary's College's sister institutions in Asia.</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
Students will continue to learn the most important nursing and medical English				持続可能な個人・集団・国の健康	
Students will continue to develop vocabulary and reading skills.					
Students will continue to develop writing skills.					
Students will continue to develop speaking skills through short presentations.					
Students will continue to learn about other countries and cultures.					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Introduction to Course and Review of English I	講義(面接)	FORTIN	Unit 1 Preparation	4時間
2	Unit 1: Hospital Departments	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 2 Preparation	4時間
3	Unit 2: Application Forms	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 3 Preparation	4時間
4	Unit 3: Parts of the Body	講義(面接)	FORTIN	Review	4時間
5	Country Study: Korea	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 4 Preparation	4時間
6	Unit 4: Illnesses	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 5 Preparation	4時間
7	Unit 5: Daily Routine	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 6 Preparation	4時間
8	Unit 6: Hospital Objects	講義(面接)	FORTIN	Review & Test Study	4時間
9	Small Test, Country Study: The Philippines	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 7 Preparation	4時間
10	Unit 7: Location of Hospital objects	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 8 Preparation	4時間
11	Unit 8: Hospital Directions & Instructions	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 9 Preparation	4時間
12	Unit 9: Directions (Outside the Hospital)	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 10 Preparation	4時間
13	Unit 10: Chatting with a Patient	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 11 Preparation	4時間
14	Unit 11: Taking a Medical History	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 12 Preparation	4時間
15	Unit 12: Hospital Procedures, Review	講義(面接)	FORTIN	Report & Presentation Preparation	4時間
成績評価方法・基準	Final exam: 40%; Small test: 20%; Reports: 25%; Presentation: 15%				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の復讐の模擬試験の解答チェックを行う ・レポートの書き直しの指示 				
教科書	Vivian Morooka & Terri Sugiura, 『VITAL SIGNS Revised Edition』, Nan'un-do, Tokyo, 2018				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6号館 2F L621 研究)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				

開設科目名	国際保健論	科目コード	BSNGC208	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環、城石幸博		
授業の概要(授業の目的)					
世界の人々の健康と、それを取り巻く保健医療状況を概観し、歴史的な流れ(その国・地域の縦の流れ)と、現時点での世界の国・地域とのつながり(横の流れ)が人々の健康に影響を与えていることを学ぶ。そのうえで、健康や命、人間の尊厳とは何かを考える。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1、国際保健の歴史を説明できる			持続可能な個人・集団・国の健康		
2、世界の健康問題とその変遷を理解できる					
3、現在の世界の保健医療問題を知り、日本の現状と比較できる					
4、国際協力と国際医療協力について説明できる					
5、国際医療協力における日本の立場、役割を理解する					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	国際保健とは	講義 (対面)	秦野	・日本国際保健医療学会学生会のホームページを訪問し、「国際保健」とはどのようなものかを読んでおく ・復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
2	人々の健康にかかわる国際機関	講義 (対面)	秦野	・教科書 p66-98 を読んでおく、 国連諸機関の中で、人々の健康に直接、関与する機関について調べ、まとめておく。復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
3	世界の健康問題(非感染性疾患を中心に)	講義 (対面)	秦野	・日本でみられる生活習慣病について調べ、まとめておく ・復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
4	世界の健康問題(結核、マラリア、エイズなどの感染症を中心に)	講義 (対面)	秦野	・細菌・ウイルス学を振り返り、細菌とは、ウイルスとは、寄生虫とは、を復習しておく 復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
5	開発途上国、中進国の保健医療の状況	講義 (対面)	秦野	・開発途上国とは、どのような国々であるのか調べる ・開発途上国の中で、ご自分が興味ある国の保健医療の状況について調べる ・復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
6	世界の健康問題(世界のエイズ問題と対策、栄養問題、人畜共通感染症、など)	講義 (対面)	城石	・世界のエイズの状況を調べておく ・人畜共通感染症はどのようなものか調べておく	予習 3時間、 復習 1時間
7	持続可能な開発目標、世界が人々の健康向上のために目指しているもの、など	講義 (対面)	城石	第2回で学修した国連機関の中で、特に、「世界保健機関」「国連開発計画」について復習しておく	予習 3時間、 復習 1時間
8	国際保健医療協力の現状と課題 日本の国際保健医療協力について	講義 (対面)	城石	JICA(国際協力機構)について調べておく	予習 3時間、 復習 1時間
成績評価方法・基準	期末試験 60%(評価者 秦野)、授業後に提示される forms への参加(40%)				
課題に対するフィードバック	Forms への回答を集計し、次の授業の際にフィードバックを行う。				
教科書	田村やよひ編：新体系 看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学 メジカルフレンド社 2022				
参考書・参考文献	適宜、参考となる資料は配布します				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	秦野環 研究室 2号館一階、214 研究室 火曜日、12時10分～13時10分、 その他は事前にメールで連絡ください (office 365) その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	国際看護論 I	科目コード	BSNGC209	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環、浅野美智留、川上桂子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>国際看護を担う一員になる存在であることを自覚する。</p> <p>グローバル化が進んだ現代社会において、看護の対象である個々の人間を尊重しながら、適切な看護を展開する基礎的能力を養う。</p> <p>世界の健康問題を概観したうえで、社会的・文化的・宗教的に配慮した看護を展開する基礎的能力を養う。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1、国際保健論で学修した日本や諸外国における健康問題を振り返り、看護を必要とされている現状を理解できる			持続可能な個人・集団・国の健康		
2、健康問題をおこす政治的・経済的・社会的・文化的要因があることを説明できる					
3、様々な健康問題が、国や地域を超えて人々に影響を与えていることを理解できる					
4、国際看護を考えるために、既に学修した他の科目を統合させ、活用することができる。					
5、文化的・社会的背景を考慮した看護を考えることができる					
6、興味ある国の健康問題を調べ、実践可能な看護について考える					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	国際看護とは	講義 <対面>	秦野	・国際保健論の授業内容を振り返っておく ・自身の居住地(市町村)の在留外国人数を調べておく。 ・教科書 p2-8 を読んでおく	予習 1 時間、 復習 1 時間
2	グローバル社会に求められる看護	講義 <対面>	秦野	・グローバル社会とはどういうことかと調べておく ・教科書 p36-47 を読んでおく	予習 3 時間、 復習 1 時間
3	在留外国人の健康問題と看護	講義 <対面>	秦野	・教科書 p48-63、p206-216 を読んでおく ・外国人が日本で生活するに当たり困難になると思われる事項を考えてくる。	予習 3 時間、 復習 1 時間
4	世界の母子保健の現状と必要な看護	講義 <対面>	浅野 川上	・世界子供白書 2021 統計データを用いて、世界で妊産婦死亡率が高いトップ 10 の国を調べる	予習 3 時間、 復習 1 時間
5	世界の保健医療の現状と課題、必要な看護を考える	講義 <対面>	秦野	国際保健論で学修した世界の健康問題を復習し、看護で貢献できうることは何かを考えておく	予習 3 時間、 復習 1 時間
6	文化や慣習が人々の健康に及ぼす影響を考える	講義 <対面>	秦野	・女性性器切除とは何か、日本や諸外国において、人々の健康に影響を与えている慣習を調べ、1,200 字程度にまとめ、授業の際に提出する。	予習 3 時間、 復習 1 時間
7	人々に行動変容を起こさせることの困難さを考える	講義 <対面>	秦野	視聴覚教材からの学修をレポートする(forms でフォーマットは準備します)	予習 3 時間、 復習 1 時間
8	国際看護活動	講義 <対面>	秦野 浅野 川上	国際保健医療協力にどのような看護活動があるのか調べる 教科書 p 160-216 を読んでおく	予習 3 時間、 復習 1 時間
成績評価方法・基準	期末試験 60% (評価者 秦野)、授業後に提示される forms への参加 40%				
課題に対するフィードバック	授業後の forms への回答を集計し、次回の講義でフィードバックを行う				
教科書	田村やよい編：新体系 看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学 メジカルフレンド社 2022				
参考書・参考文献	参考資料は、適宜配布します。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>秦野環 オフィスアワー 火曜日、12 時 10 分～13 時 10 分、 学習相談：メールでご連絡ください、アポイントメントをとっていただき対応したいと思います 国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにもぜひ、体験していただきたいと思います</p> <p>その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 第 8 回においては、「緊急流入が難民定住地の長期滞在女性難民に及ぼした影響 ウガンダ難民定住地での調査報告、その 1」の結果の一部を参照しながら授業を行います。</p>				

開設科目名	English Practice Abroad	科目コード	BSNGC210	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	3単位(自由)	時間数	90時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN, Eric	担当者	FORTIN, Eric		
授業の概要(授業の目的)					
This class is part of the Global Studies course at St. Mary's College. In this class students will spend two weeks at Canossa College in the Philippines, near Manila. At this institution, which is one of St. Mary's College's sister colleges, students will have intensive English classes as well as cultural activities in morning and afternoon sessions. The English classes will be general communication classes during the first week, and by the end of the second week they will be asked to host their own farewell party. They will also be able to observe and participate in nursing classes for Filipino nursing students.					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) Students will develop confidence in speaking about various topics.			持続可能な個人・集団・国の健康		
2) Students will develop fluency using previously-studied vocabulary and grammar.					
3) Students will be able to conduct common situational conversations.					
4) Students will understand the importance of cross-cultural communication.					
5) Students will have direct contact with the Filipino culture.					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Pre-Departure Preparation	講義<面接>	Fortin	Come with English motivation and mindset	2時間
2	Orientation and Diagnostic Tests	講義<面接>	Core Team	Prepare greetings & Learn about Filipino culture	2時間
3	Introduction and Greetings	講義<面接>	Maghirang	Homework/Review	2時間
4	Travel and Directions	講義<面接>	Suavengco	Homework/Review	2時間
5	Time, Date, and Weather	講義<面接>	Go	Homework/Review	2時間
6	Numbers, Money, and Shopping	講義<面接>	Reyes	Homework/Review	2時間
7	Cultural Expressions and Making Friends	講義<面接>	Sanchez /Mata		2時間
8	Communication Difficulties	講義<面接>	Maghirang	Homework/Review	2時間
9	Emergency and Health	講義<面接>	Pasco	Homework/Review	2時間
10	Work and Dining	講義<面接>	Core Team	Homework/Review	2時間
11	Communication Activities	講義<面接>	Core Team	Prepare for hosting farewell party	2時間
12	Post-Arrival Discussion	講義<面接>	Fortin	Prepare summaries for discussion	2時間
成績評価方法・基準	Daily class participation/assignments: 30%; Final Filipino staff evaluation: 30%; Engagement with Filipino faculty/staff/students outside class: 20%; Post-Return discussion session & report: 20%				
課題に対するフィードバック	・フィリピンで授業後(夕方)の反省会 ・帰国後の反省会(英語・フィリピンの文化について学んだこと)				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6号館2F L621研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				

開設科目名	Intercultural Awareness	科目コード	BSNGC211	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(自由)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN, Eric	担当者	FORTIN, Eric		
授業の概要(授業の目的)					
This class is the third class of the Global Human Resources course at St. Mary's College. In this class students will enhance their awareness of both the differences as well as the similarities among various cultures around the world. They will use the English that they have learned previously to express their understanding and opinions about those cultures and their customs.					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) Students will develop confidence in speaking about various topics.				持続可能な個人・集団・国の健康	
2) Students will develop fluency using previously-studied vocabulary and grammar.					
3) Students will be able to conduct common situational conversations.					
4) Students will understand the importance of cross-cultural communication.					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Understanding Intercultural Diversity	講義(面接)	FORTIN	Develop your Intercultural Awareness	4時間
2	Food, Culture, and Society: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
3	Better Lifestyles in Different Cultures: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
4	Being an Intercultural Traveler: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
5	Cultivating Global Citizenship: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
6	Attitudes toward Gender Roles: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
7	Causes of War and World Peace: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
8	Engaging in more Globalization: Final Presentations	講義(面接)	FORTIN	Final review and reflection	4時間
成績評価方法・基準	Discussion participation/leadership: 40%; Final report: 30%; Final presentation: 30%				
課題に対するフィードバック	授業中のテーマによって毎回浅い文化と深い文化の違いの考慮				
教科書	教員のプリント				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				